

札幌地区バスケットボール協会 U12 部会

2026 年度

事業計画説明会

日 時 4月11日(土) 13:00~
(受付12:30~)

場 所 当別町総合体育館
石狩郡当別町白樺町2792番地

○事業計画説明会次第

1・開会の言葉

2・部会長あいさつ

3・来賓あいさつ 札幌地区バスケットボール協会 小師 良仁 理事長

4・2025年度 活動報告

- (1) 事務管理部門 ・会計決算報告 ・登録推進事業
・代表 ・総務 ・会計 ・広報
- (2) 競技運営部門 ・競技会 ・育成 ・審判

5・2026年度 活動計画

- (1) 札幌地区 U12 部会 2026 年度運営方針
- (2) 札幌地区 U12 組織体系(新体制について)・年間計画
- (3) ウェルフェアについて
- (4) 事務管理部門 ・会計予算 ・登録推進事業
・代表 ・総務 ・会計 ・広報
- (5) 競技運営部門 ・競技会 ・育成 ・審判

6・連絡事項

- (1) 登録・移籍・合同チームについて
- (2) 札幌地区主催大会について 要項
- (3) 少年団の登録について

7・全国大会報告(書面にて) 男子:白石 女子:旭

8・その他

9・閉会の言葉

○インテグリティ研修会

○ブロック会議(ブロック専門員の決定ほか)

※会場は17:00閉館となります。

2025 札幌地区バスケットボール協会U12部会 大会決算

大会名	春季大会	秋季大会	新人大会	リーグ戦	体験会
参加料	13,000	14,000	8,000	1,000	-

[収入]

項目	金額	金額	金額	金額	金額
1.協賛金	100,000	0	0	0	0
2.広告料	0	440,000	0	0	0
3.放映料	0	0	0	0	0
4.入場料	0	0	0	0	0
5.プログラム売上代	0	0	0	0	0
6.参加料	1,677,000	1,834,000	1,008,000	133,000	0
7.記念品等売上	0	0	0	0	0
8.補助金		101,700	0	0	0
9.講習会受講料	0	0	0	0	0
10.その他収益	0	0	0	0	600,000
合 計	1,777,000	2,375,700	1,008,000	133,000	600,000

[支出]

項目	金額	金額	金額	金額	金額
1.会議費	76,000	90,200	44,200	68,000	0
2.旅費交通費	172,000	170,000	114,000	0	0
3.通信運搬費	2,800	4,560	2,330	860	0
4.消耗品費	24,600	33,966	660	0	0
5.器具備品費	0	0	0	0	0
6.印刷製本費	378,950	650,980	0	0	0
7.賃借料	211,880	300,304	0	0	0
8.広告宣伝費	0	0	0	0	0
9.諸謝金	786,500	853,000	681,000	0	600,000
10.保険料	0	0	0	0	0
11.支払手数料	1,924	3,304	770	400	0
12.報償費	105,758	107,416	105,480	0	0
13.食糧費	0	39,150	0	0	0
14.雑費	0	0	0	0	0
合 計	1,760,412	2,252,880	948,440	69,260	600,000

残金（収入－支出）	16,588	122,820	59,560	63,740	0
-----------	--------	---------	--------	--------	---

※残金は札幌地区バスケットボール協会に納入

2025登録推進事業（チーム体験会）実績報告

○ブロック別開催回数

	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	合計
秋季大会参加チーム	20	24	28	22	37	131
体験会開催回数	16	25	35	19	25	120

※チーム数ではなく回数。



ブロック間で大きな偏りは無かった。

○月別開催回数

開催月	回数	
4月	29	98
5月	7	
6月	11	
7月	20	
8月	15	
9月	16	22
10月	6	
11月	4	
12月	3	
1月	9	
合計	120	



4月～9月で全体の約8割を占めた。

○開催数別チーム数

開催数	チーム数
0回	39
1回	11
2回	25
3回	15
4回	2
5回	1
合計	93



3回までが大部分を占めた。0回のチームも多数あった。

2025年度 事務管理部門 活動報告

2026. 4. 11

【業務分担】

○担当副部長

- ・事務局会及び部会、グループ会議の招集・運営
→集合形式・オンラインを併用し、会議の調整を行った
- ・H B A-U 1 2 部会との連携
→連絡事項の配信、H B A-U 1 2 部会主催大会における札幌地区の窓口業務を行った
→一部、道央ブロック大会において連絡の不十分な点があった

○代表グループ

- ・ブロック業務の全体調整、ブロック会議の招集・運営、各ブロック大会運営、H B A 連携
→H B A-U 1 2 部会、S B A からの情報伝達、他ブロックとの業務調整、大会運営等を行った

○総務グループ

- ・登録およびエントリー業務、移籍・合同チーム対応、プログラム編集
Team JBA システム管理
J B A チーム・選手登録、各種大会へのエントリーの周知、期日の明確化
移籍・合同チーム申請の対応
プログラム作成 以上の業務を行った
→エントリー期日等周知について課題として次年度進めていく
→登録推進事業についての取組を強化していく

○会計グループ

- ・会計業務、発注業務、スポンサー対応
適正に業務を行った

○広報グループ

- ・ホームページ管理、各種大会記録集約、データ配信
周知事項の整理、発信を行った
ホームページの効果的な運用を行った

2025年度 競技運営部門 競技会グループ活動報告

札幌地区 U12 リーグ 2025

前期リーグ(Spring League) 2025年4～5月 小学校体育館 他
中期リーグ(Autumn League) 2025年8～10月 小学校体育館 他
後期リーグ(Winter League) 2026年1～3月 小学校体育館 他
各チーム年間10試合程度の交流試合を実施。
後期リーグは一部 U15 ルールを採用して実施。

第45回 春季札幌地区ミニバスケットボール選手権

2025年5～6月 小学校体育館 美香保体育館 厚別区体育館 他
トーナメント形式で、各ブロック成績上位全16チームでブロック交流戦を実施。
北海道サマーフェスティバル出場に推薦する全10チームを決定。
(その内、ウェルフェア推薦枠を設け、北海道サマーフェスティバル出場に推薦する2チームを決定。)

第54回 秋季札幌地区ミニバスケットボール選手権

2025年10～11月 小学校体育館 厚別区体育館 江別市民体育館 他
トーナメント形式で、各ブロック成績上位全20チームでブロック交流戦を実施。
北海道大会・北海道ブロック道央大会出場に推薦するチームを決定。

2025年度 札幌地区 U11 新人大会

2025年12～2026年2月 小学校体育館 他
各ブロックで U11 世代によるトーナメント形式の大会を実施。

第4回北海道ブロック道央大会(小樽・南空知・札幌地区)

2026年2月7日(土)・8日(日) 美唄市総合体育館
リーグ戦形式で、小樽地区2チーム・南空知地区2チーム・札幌地区10チームで交流戦を実施。

2025年度 ユース育成グループ 活動報告

【活動内容】

- ①育成センター（DCマネージャー：阿部・男子コーチ：古川・女子コーチ：桑原・スタッフ：村田（Dブロック））

○育成センター講習会の企画・運営

- ① 4月20日（日） Eブロック
- ② 5月18日（日） Dブロック
- ③ 7月 6日（日） Cブロック
- ④ 8月17日（日） Bブロック
- ⑤ 8月31日（日） Aブロック

- ・活動・収支報告書の作成、提出、清算
- ・次年度に向けた計画（日程・予算書の作成など）

- ②指導者育成

○インテグリティ研修会の企画・運営

- ・春季・秋季大会時にインテグリティ研修会を実施

- ③北海道DC

- 9月13日（土）・14日（日） 北広島市立東部小学校
- DCコーチ・チーフマネージャ参加

- ④北海道DCブロック交流会

- 3月14日（土） 当別町総合体育館
- 各ブロック秋季大会1～4位のチームから男女1名ずつ参加
- 札幌・南空知・小樽地区から選手が参加、午前5×5、4×4・午後交流試合

【成果】

- DCは、昨年度の課題から、一部の選手にのみの伝達で終わっていた現状から、各ブロックで実施し、札幌地区に広くDCの内容を伝達することができた。また、各ブロックの指導者にも、伝達できたことが大きな成果であった。各ブロックの体育館確保のご協力に感謝申し上げます。
- 昨年度に引き続き、インテグリティ研修会を実施することができ、コーチや保護者の方に、インテグリティや育成マインドについて考えるきっかけをつくることができた。

【課題】

- できるだけ早く、各チームや指導者、選手に伝達してきたいが、札幌地区の広域性や年度当初のリーグ戦、春季大会の時期を考えると、今年度並みとなってしまう。

北海道DC 第2回U12 道央ブロック交流会 実施要領

【参加対象・申込】

- ・札幌地区は、各ブロック秋季大会1位～4位のチームから6年生を1名ずつ選出
 - * チームから選出する選手が5年生の場合は、参加を辞退していただきます。理由として、スキル面やフィジカル面などを含めて、選手の技術習得や安全面を保障するためです。この場合、ブロック内で欠員分を補充できれば行っていただきます。1位のチームから選出できない場合は、2位のチームから順に欠員分の補充をお願いします。
- ・各ブロック4名×5ブロック 計20名 (男女計 40名)
- ・参加者名簿に必要事項を記入の上、各ブロックDC育成センター担当へ2月25日(水)中に提出してください。(DC育成センター担当は、2月27日(金)までに阿部まで提出)

【開催日】 2026年3月14日(土)

【場所】 当別町総合体育館

【日程】

時間	内容	備考
8:30～	札幌地区・指導者スタッフ集合	会場設営
9:00～9:10	他地区指導者スタッフ集合	指導者・スタッフ打合せ
9:10～ 9:25	選手集合・開場・選手受付	ブロックごとに体育館内で受付
9:25～ 9:30	選手準備	荷物は2階デッキ・サブアリーナ
9:30～ 9:45	開会式	フロアでブロックごとに整列
9:45～10:00	ハーフ5×5・4×4のチーム編成	地区交流
10:00～10:20	自己紹介・アップ(ストレッチなど)	
10:25～11:45	ハーフ5×5・4×4のゲーム	1チーム2ゲームずつ
11:50～12:30	昼食	昼食⇒ロビー・2階デッキ 交流試合用保護者観覧席設置 コート使用可能
12:30～13:30	交流試合①	
13:30～13:50	アップ	コート使用可能
13:50～14:50	交流試合②	
14:50～15:10	アップ	コート使用可能
15:10～16:10	交流試合③	
16:10～16:15	閉会式	フロアでブロックごとに整列
16:15～	解散・撤収	

【開・閉会式】主な内容

- ◇開会式 ・各ブロック指導者紹介 ・目的、日程、5×5・4×4のルール確認
- ◇閉会式 ・各ブロック代表者挨拶(講評など)
 - ・各ブロック選手1名ずつによる感想、挨拶

【ハーフ5×5・4×4】

①以下のように各地区合同の4～5名のチームをつくる。

★男子

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
札幌	2名	1名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	1名	1名
小樽	2名	2名	2名	2名	2名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	2名
南空知	1名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	1名
合計	5名	5名	5名	5名	5名	5名	4名	4名	4名	4名	4名	4名	4名	4名

★女子

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
札幌	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
小樽	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名
南空知	2名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名
合計	5名	5名	4名	4名	4名	4名	4名	4名	4名	4名

②ルール

- 試合時間は、8分間（プログラムタイマーで流し）1ゲームを2試合ずつ。
- リングの高さは3.05mとし、スリーポイントを採用
- ゲームスタートは、じゃんけんで最初に攻めるチームを決定
- 3ポイントラインより、外にボールを出して攻守交替
- アウトオブバウンズは、ボールがデッドになったラインからスローイン
- ファウルが起きた場合、ファウルが起きた位置に近いラインからスローイン
- 個人とチームファウルのカウントはなし
- ショットのファウルは、フリースロー2本
- ショットが決まった場合、相手チームが3ポイントラインの外の目印の場所（トップ）から再開（3×3では、エンドラインからスローインとなるが、人数が多いため、DFに防御されることが多く、リスタートに困難があるため）
- ショットクロックはなし
- タイムアウトなし
- 時間内で得点が多いチームが勝ち
- 選手は、ユニフォームやナンバリングシャツなどを着用する

③対戦・コート

コート	①	②	③	④	⑤	⑥
A-1	1-2	3-4	5-6	1-3	2-5	3-6
A-2	7-8	9-10	11-12	7-9	8-10	11-13
B-1	1-2	3-4	5-6	1-2	3-5	4-6
B-2	7-8	9-10	13-14	7-9	8-10	12-14
ベンチ	札幌・小樽		小樽・南空知		南空知・札幌	
審判	南空知		札幌		小樽	

*赤字：5×5・黒字：4×4

*試合後5分で入れ替えとし、1試合13分で実施。13分×6試合=78分

- ④各チームの指導者やスタッフからベンチ1名ずつ、審判員を2名ずつ選出する。ベンチでは、適宜声掛けなどをする（指示は難しいため、励ましの声掛けなど）レフリーカッターは、交流戦の5×5（4×4）のため、なしとする。
- ⑤次の試合のチームは、ベンチで待機。それ以外の選手は、ベンチエリアと逆サイドで観戦・待機とする。

【交流試合】

- ①基本ルールはミニバスケットボールのルールとする（タイムアウトも同様）
- ②1試合、1Q6分の4Q制・ハーフタイムは5分・同点の場合、延長は行わない
- ③リングの高さは3.05mとし、スリーポイントを採用する
- ④チーム編成は、男女各1チームずつとする
- ⑤選手は、ユニフォームやナンバリングシャツなどを着用する
- ⑥各チームから審判員として2名ずつ選出し、レフリースタッフを着用する
* 審判員が不足する場合は、当日会場で調整する
- ⑦審判・TOは、試合がないチームで行う
- ⑧保護者は、ベンチと逆サイドの観覧席で観覧・応援可能
* 個人情報保護のため、ビデオ・写真撮影は禁止とする

時間	内容	Aコート（男子） Bコート（女子）	審判・TO
12:30~13:30	交流試合①	小樽—札幌	南空知
13:50~14:50	交流試合②	南空知—札幌	小樽
15:10~16:10	交流試合③	南空知—小樽	札幌

【持ち物】

- ・シューズ ・ボール（5号球） ・ドリンク ・タオル ・着替え ・昼食（軽食）など
- ・「参加同意書」「参加費」（1000円）を受付時にお渡しください

【その他】

- ・保護者の方は、午前中は2階デッキで、交流試合中はフロアのベンチと逆のエリアで観戦が可能です。
- ・5×5・4×4・交流試合なども含め、全日程中は、ビデオ撮影・写真撮影などはできません。
- ・不明な点などの問い合わせや当日欠席などの連絡は、各ブロックの担当者（チーフマネージャー）にお願いします。
- ・飲食は、ロビー・2階デッキで可能です。
- ・お車でお越しの際は、ダッシュボードの上に、各チームなどで使用しているチーム名が入った表示物を置いてください。また、積雪の関係で駐車スペースが限られる場合があります。別紙をご覧ください。
- ・ご入力いただいた個人情報につきましては、本活動以外の目的では使用しません。
- ・不明な点などのお問い合わせや、当日欠席などのご連絡は、下記までお願いします。

★今回送付している資料

- ①実施要項（本資料） ②都道府県育成センター活動における指導方針について
- ③DC参加者の保険について ④マルファン症候群に関する注意 ⑤参加同意書 ⑥参加者名簿
- ⑦当別町総合体育館駐車場位置図

担当 阿部 孔明 札幌地区バスケットボール協会U12部会
ユース育成グループ DCチーフマネージャー

札幌地区
バスケットボール協会
U12部会

2026年度 事業計画説明会

子どもたちの未来をデザインする、大人たちのアップデート

2026年4月11日（土）
当別町総合体育館

© NotebookLM

2025年度の成果：確かな前進

育成マインドの浸透

子どもたちがのびのびとバスケットボールを楽しむ姿が見られた

ワクワクを大切に競技力の向上

大会形式の変更に伴い、子どもたちがより熱くチャレンジする姿が見られた

© NotebookLM

次なる課題：大人と子どもの「共有環境」づくり

芽生え始めた
マインド

課題1: 「育成マインド」の理解の
さらなる深まりと広がり

心から楽しめる
競技会づくり

課題2: 子どもも大人も、心からバス
ケットボールを楽しめる環境の構築

© NotebookLM

2026年度の運営方針：2つの柱

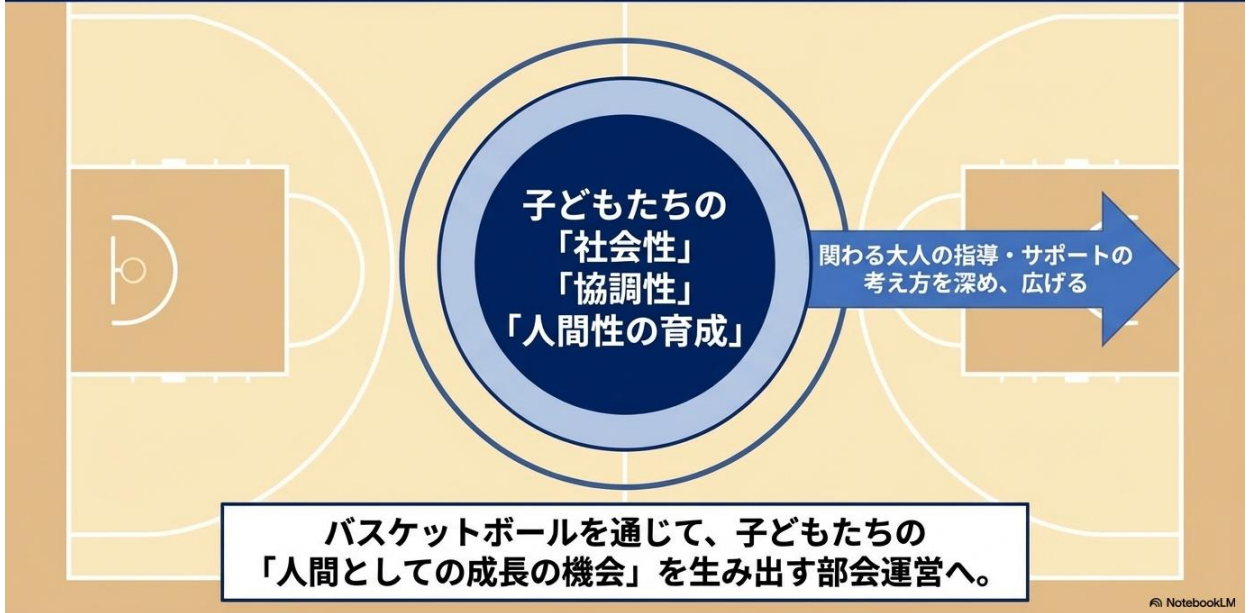
2026 VISION

育成マインドの
深まり・広がり

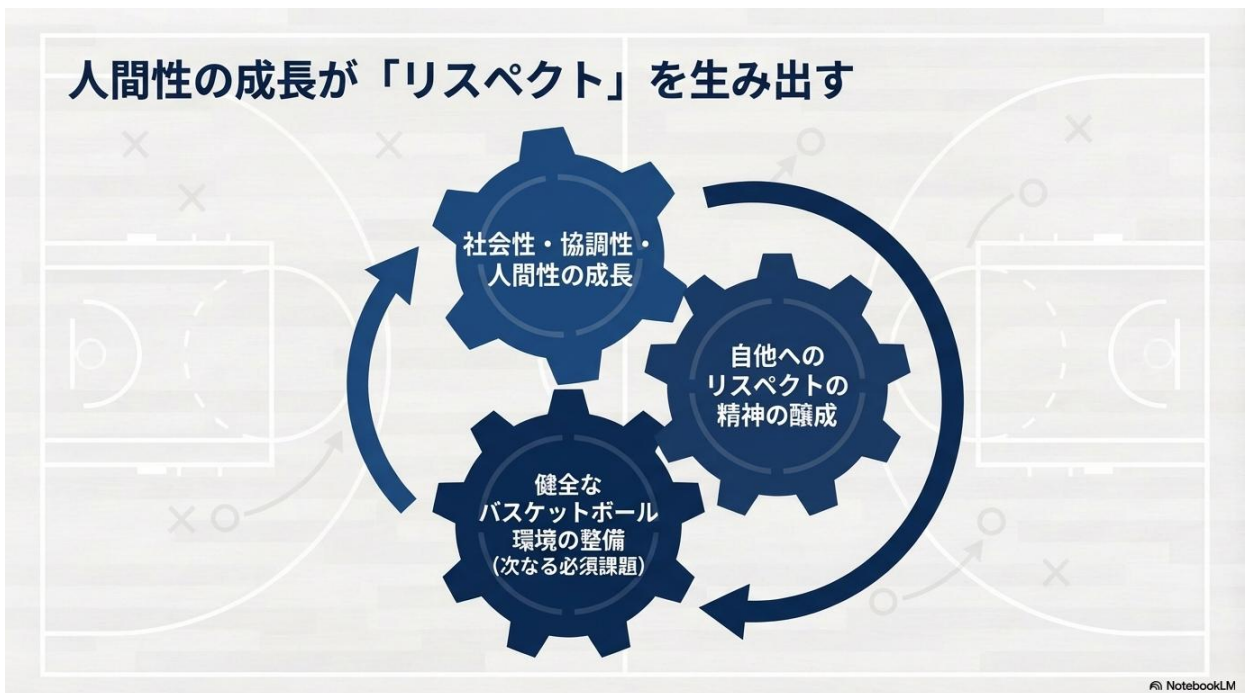
ワクワクを大切に
競技力の向上

© NotebookLM

【柱①】育成マインド：私たちの究極の目的



人間性の成長が「リスペクト」を生み出す

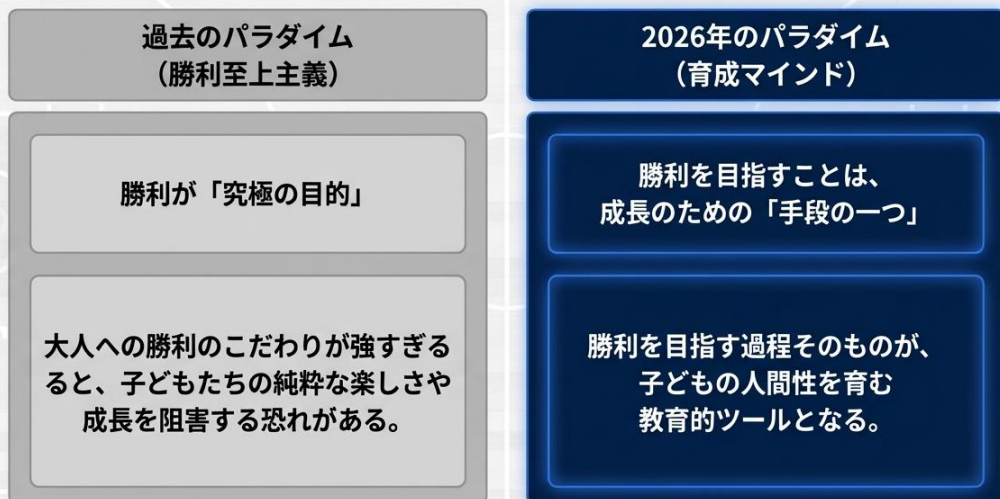


育成マインドを阻む4つの壁



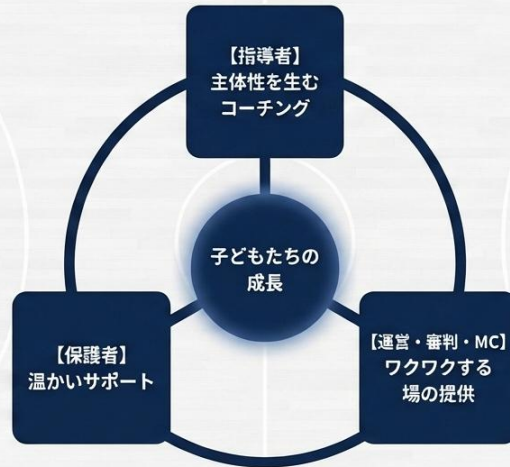
© NotebookLM

パラダイムシフト：「勝利至上主義」からの脱却



© NotebookLM

子どもの成長を支える「大人のエコシステム」



子どもを取り巻く大人全員が育成マインドを共有する。

© NotebookLM

【柱②】 ワクワク：競技力向上の究極の目的



ワクワクする競技体験も、行き着く先は「育成マインド」と全く同じゴールです。

© NotebookLM

競技環境における4つのアップデート課題

勝利の捉え方の
更新

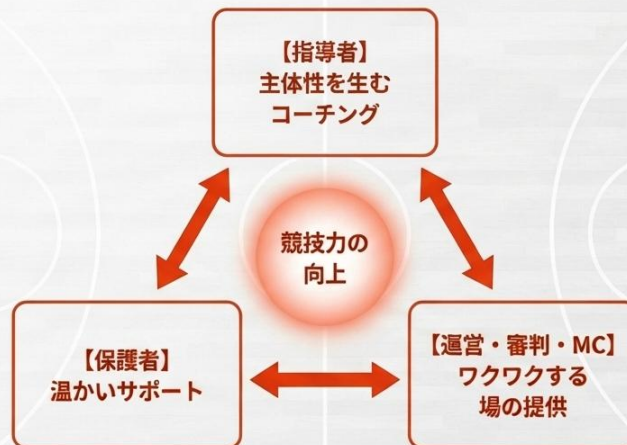
新たな仲間との
出会い・交流

チームのあり方の
再定義

「楽しむ」という
根本的な
モチベーションの維持

© NotebookLM

ワクワクを生み出す「大人のエコシステム」



ワクワクできる環境づくりにも、全く同じ大人の姿勢が求められます。

© NotebookLM

2026年度の最重点：ウェルフェア（安心・安全）な環境づくり



子どもが健全に成長できる環境の創造

学び続ける指導者の育成

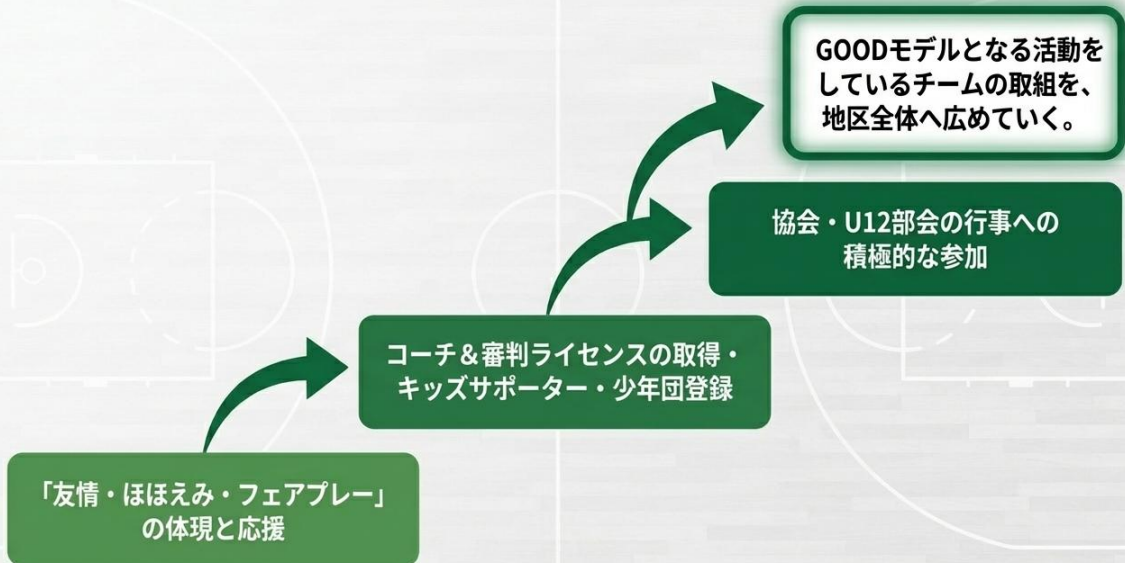
温かく見守るチーム風土の醸成

ウェルフェアオフィサーとは

リスペクトやフェアプレーを促進し、暴力や差別などの問題を防ぐ役割を担う人。
バスケットボール界において、極めて重要な役割として位置づけられています。

© NotebookLM

ウェルフェアを体現する「GOODモデル」への道



© NotebookLM

競技会における具体的な実装

大会における 「ウェルフェアオフィサー枠」の設定

制度の具体的な内容、および各チームへのお願い事項については、別資料を用いて詳細をご説明いたします。

次のアクションへ

© NotebookLM

大人のアップデートが、子どもの未来を創る

指導者・保護者の
「アップデートに取り組む姿勢」

子どもたちの
「のびのびとした成長」

2026年度も、共に学び、共に変わり続ける一年へ。
今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

© NotebookLM

札幌地区バスケットボール協会U12部会 2026年度 組織図

2026/4/11

JBA 日本バスケットボール協会

HBA 北海道バスケットボール協会

札幌地区バスケットボール協会	
会長	細川 正人
副会長	斉藤 拓也
理事長	小師 良仁
副理事長	斉藤 八起

北海道バスケットボール協会U12部会

札幌地区バスケットボール協会U12部会

部会長	二又 利行							
副部会長	事務管理部門： 増井 耕介				競技会運営・育成部門： 赤尾 武 ・ 桑原 奨			
グループ	代表	総務	会計	広報	チーム指導者	競技会	育成	審判
業務内容	ブロック業務の全体調整	登録・エントリー	会計業務	ホームページ	部会運営協力	春季・秋季大会	DC事業運営	審判員育成・研修
	稼働集約	移籍・合同チーム	発注業務	各種記録集約		リーグ戦	キッズ事業運営	MC育成・研修
	HBA連携	プログラム	スポンサー	データ配信		会場	インテグリティ	
グループスタッフ	グループ チーフ ○=リーダー	○増井 耕介	○金山 努 山内 重人 中塚 宗太 (増井 耕介)	○二馬 駿 千代谷 隆大 根深 忠大	○古川 陽介 佐藤 美美 (増井 耕介) (斎藤 直樹)	○赤尾 武 桑原 奨 二又 海斗	○阿部 孔明 桑原 奨 前田 竜輝 (安樂 雄太)	○佐々木仁志 千葉 隆太 武田 慎明
	Aブロック	堀川 拓						
	Bブロック	小倉 伸幸						
	Cブロック	増井 耕介						
	Dブロック	青木 優太						
	Eブロック	佐藤 聡						

規律委員会	鳥丸 俊郎 齊藤 八起 小出 真二
	二又 利行 斉藤 拓也 山田 智嗣

札幌U12事務局会	部会長、副部会長、ブロック代表、グループチーフ（○付きの方）
	・ JBA、HBAからの情報共有、全道部会長会議への参加
	・ 各グループからの提案についての意見交換
	・ 諸問題への対応

札幌U12グループ会議	事務局メンバー＋各グループスタッフ
	・ 各担当業務についてJBA、HBAからの情報を伝達
	・ 地区としての取組の計画立案、運営
	・ ブロック間の情報共有、調整

ブロック会議	各ブロック構成員（代表、ブロック各グループスタッフ）
	・ 各種大会に合わせて開催
	・ 組合せ、会場書連絡等
	※全チーム指導者の参加を必須とする

令和8年・2026年度 札幌地区バスケットボール協会U12部会 -年間活動計画- 2026/4/8 現在

日 曜	4月	日 曜	5月	日 曜	6月	日 曜	7月	日 曜	8月	日 曜	9月
1 水		1 金	春季大会 プログラム原稿 最終入稿 (総務G)	1 月		1 水		1 土	北海道サマーフェスティバル	1 火	
2 木		2 土		2 火		2 木		2 日	北海道サマーフェスティバル	2 水	
3 金	事務局会 (総会・春季大会に向けて)	3 日	憲法記念日	3 水		3 金		3 月		3 木	
4 土		4 月	みどりの日	4 木		4 土		4 火		4 金	秋季大会プログラム チーム広告まとめ完了 (総務G)
5 日		5 火	こどもの日	5 金		5 日	DC③	5 水		5 土	
6 月		6 水	振替休日	6 土	春季ブロック大会	6 月	事務局会 (札幌SF振り返り) (中期リーグに向けて)	6 木		6 日	秋季大会 全市代表者会議 (オンライン)
7 火		7 木		7 日	春季ブロック大会	7 火		7 金		7 月	事務局会 (秋季大会に向けて)
8 水		8 金		8 月	事務局会 (札幌サマー厚別・美音保)	8 水		8 土		8 火	秋季大会 TeamJBAエントリー開始
9 木		9 土		9 火		9 木		9 日		9 水	
10 金		10 日		10 水		10 金		10 月	山の日	10 木	
11 土	2026年度 U12部会事業計画説明会 春季大会代表者会議	11 月	事務局会 (春季大会に向けて)	11 木		11 土		11 火	事務局会 (秋季大会に向けて)	11 金	
12 日	リーグ・春季大会 teamJBAエントリー開始 審判認定講習会	12 火		12 金		12 日		12 水		12 土	
13 月	春季大会プログラム 大会役員一覧確認 表紙・過去成績確認 (総務G)	13 水		13 土	春季ブロック大会 (厚別区体育館)	13 月		13 木		13 日	
14 火		14 木		14 日	春季ブロック大会 (厚別区体育館)	14 火		14 金		14 月	
15 水		15 金		15 月		15 水		15 土		15 火	移籍申請締切 (秋季分)
16 木		16 土	移籍申請締切 (北海道サマーF分)	16 火		16 木		16 日	DC④	16 水	
17 金		17 日	DC②	17 水		17 金		17 月		17 木	秋季大会 TeamJBAエントリー締切 エントリーチェック (総務G)
18 土		18 月		18 木		18 土		18 火		18 金	秋季大会プログラム メンバー表出力 表紙・過去成績確認 (総務G)
19 日	DC① リーグ・春季大会 teamJBAエントリー締切 エントリーチェック (総務G)	19 火		19 金		19 日		19 水		19 土	
20 月	春季大会プログラム メンバー表出力 (総務G)	20 水		20 土	春季ブロック大会 (厚別区体育館)	20 月	海の日	20 木		20 日	
21 火		21 木		21 日	札幌SF (札幌地区交流戦) (美音保体育館)	21 火		21 金	秋季大会プログラム チーム広告締切	21 土	敬老の日
22 水		22 金		22 月	北海道サマーフェスティバル 出場チーム報告期限	22 水		22 土		22 日	国民の休日
23 木		23 土	春季ブロック大会開始 (~6月21日)	23 火		23 木		23 日	DC⑤	23 水	秋分の日
24 金	春季大会プログラム スポンサー広告集約 (会計G)	24 日	春季ブロック大会	24 水		24 金		24 月		24 木	
25 土		25 月		25 木		25 土		25 火		25 金	
26 日	春季大会プログラム メンバー表完成 (総務G)	26 火		26 金		26 日		26 水		26 土	
27 月	春季大会プログラム 組合せ集約 (総務G) 原稿完成 (総務G)	27 水		27 土		27 月	秋季大会プログラム チーム広告募集開始	27 木		27 日	
28 火		28 木		28 日		28 火		28 金		28 土	秋季大会プログラム スポンサー広告集約 (会計G) メンバー表完成 (総務G)
29 水	昭和の日	29 金		29 月		29 水		29 土	審判認定講習会	29 火	秋季ブロック大会 組合せ集約 (代表・総務G)
30 木	JBA登録締切 (春季・札幌サマーF分)	30 土	春季ブロック大会	30 火		30 木		30 日		30 水	JBA登録締切 (秋季・道大会・道B大会分)
-		31 日	春季ブロック大会 JBA登録締切 (北海道サマーF分)	-		31 金	北海道サマーフェスティバル	31 月		-	

前期リーグ(実施例)

春季ブロック大会・札幌サマーフェスティバル

中期リーグ(実施例)

前期リーグ(実施例)

春季ブロック大会・札幌サマーフェスティバル

令和8年・2026年度 札幌地区バスケットボール協会U12部会 -年間活動計画- 2026/4/8 現在

日 曜	10月	日 曜	11月	日 曜	12月	日 曜	1月	日 曜	2月	日 曜	3月
1 木		1 日	秋季ブロック大会	1 火		1 金	元旦	1 月		1 月	事務局会 (次年度に向けて)
2 金	秋季大会 プログラム原稿 最終入稿 (総務G)	2 月		2 水	新人戦 teamJBA エントリー締切 エントリーチェック (総務G)	2 土		2 火		2 火	
3 土		3 火	文化の日 秋季ブロック大会	3 木		3 日		3 水		3 水	
4 日		4 水		4 金	北海道大会稼働・TO集約完了 HBA U12へ報告	4 月		4 木		4 木	
5 月	事務局会 (秋季大会に向けて)	5 木		5 土		5 火		5 金		5 金	
6 火		6 金		6 日		6 水		6 土	北海道ブロック道央大会	6 土	
7 水		7 土	秋季ブロック大会	7 月		7 木		7 日	北海道ブロック道央大会	7 日	
8 木		8 日	秋季ブロック大会 (厚別区体育館)	8 火		8 金	北海道ミニバスケットボール大会	8 月		8 月	
9 金		9 月	事務局会 (秋季大会・新人戦)	9 水		9 土	北海道ミニバスケットボール大会	9 火		9 火	
10 土		10 火		10 木		10 日	北海道ミニバスケットボール大会	10 水		10 水	
11 日		11 水		11 金		11 月	成人の日	11 木	建国記念の日	11 木	
12 月	スポーツの日	12 木		12 土		12 火		12 金		12 金	
13 火		13 金		13 日		13 水		13 土		13 土	道央ブロックDC交流会
14 水		14 土	秋季ブロック大会	14 月		14 木		14 日		14 日	
15 木		15 日	秋季ブロック大会 (厚別区体育館) 北海道大会参加チーム 札幌地区予備抽選	15 火	新人戦	15 金		15 月	事務局会 (次年度に向けて)	15 月	
16 金		16 月		16 水		16 土		16 火		16 火	
17 土		17 火		17 木		17 日		17 水	新人戦	17 水	
18 日		18 水		18 金		18 月	事務局会 (道ブロック道央大会)	18 木		18 木	
19 月	チーム活動状況調査 (事務局)	19 木		19 土		19 火		19 金		19 金	
20 火		20 金		20 日		20 水		20 土		20 土	
21 水		21 土	秋季ブロック大会	21 月		21 木		21 日		21 日	春分の日
22 木		22 日	札幌地区ミニバス大会 (恵庭市総合体育館)	22 火		22 金		22 月		22 月	振替休日
23 金		23 月	勤労感謝の日 札幌地区ミニバス大会 (恵庭市総合体育館) 北海道大会出場チーム報告期限	23 水		23 土		23 火	天皇誕生日	23 火	
24 土	秋季ブロック大会開始 (~11月23日)	24 火	新人戦 teamJBA エントリー開始	24 木		24 日		24 水		24 水	
25 日	秋季ブロック大会	25 水		25 金		25 月		25 木		25 木	
26 月		26 木		26 土		26 火		26 金		26 金	
27 火		27 金		27 日		27 水		27 土		27 土	
28 水		28 土		28 月		28 木		28 日		28 日	
29 木		29 日		29 火		29 金		29 月		29 月	事務局会 (次年度に向けて)
30 金		30 月		30 水		30 土		30 日		30 日	
31 土	秋季ブロック大会	-		31 木		31 日				31 水	

秋季ブロック大会・札幌地区ミニバスケットボール大会

秋季ブロック大会・札幌地区ミニバスケットボール大会

新人戦

新人戦

後期リーグ(実施例)



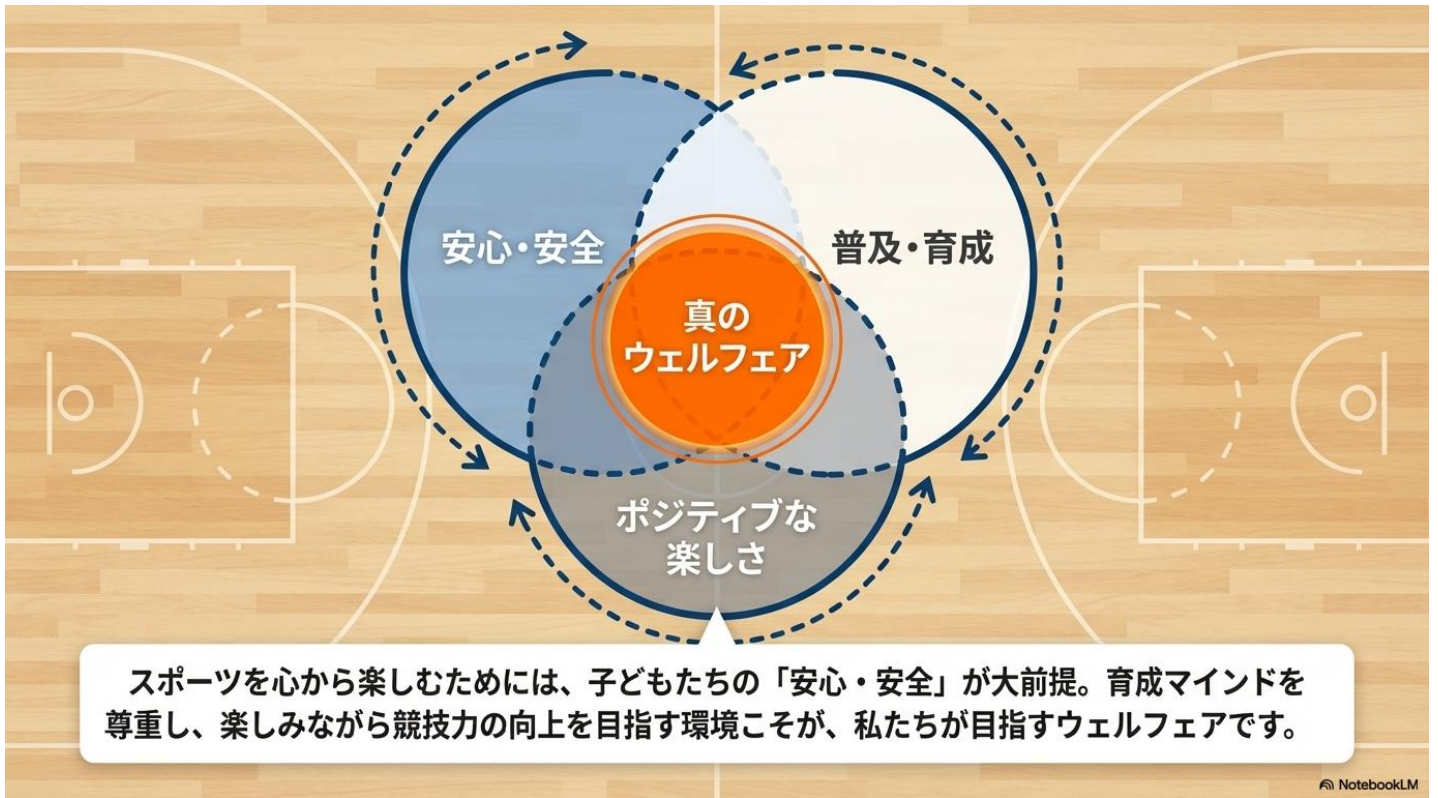
R8年度ウェルフェアを目指す取組み案

すべてのチームに、主役になる権利がある。

目的はただ一つ。



子どもたちの
『心からバスケットボールが楽しい』を引き出すこと。



昨年度の成果と、直視すべき「反省点」

成果

- クリーンなバスケットを展開するチームの選出に成功。
- 少年団の行動が評価される「ウェルフェアオフィサー枠」の導入。

反省点

- 実力主義の罫：交流戦からの選出により、本来の趣旨から外れた実力偏重に。
- 否定的な議論：減点方式のネガティブな話し合いが発生。
- 曖昧な基準：選出基準が不明瞭で理由が開示できない事態に。

札幌地区「131チーム」という巨大な壁

課題①：全チームの状況を把握できない

課題②：素晴らしい取り組みの普及に時間がかかりすぎる

昨年度の反省から浮き彫りになったのは、「明確な基準」「どのチームも選ばれる権利」、そして「ウェルフェアの考え方を全チームへ普及させること」の必要性です。

新たな推薦の流れ：ボトムアップ型エントリー

札幌地区

各ブロックから推薦されたチームから、最終的に「2チーム」を決定

各ブロック

エントリーされたチームの中から、自信を持って「2チーム」を推薦

各チーム

自己推薦による各ブロックへのエントリー

なぜ、この新システムがすべてを変えるのか？



すべてのチームに権利を
基準が明確化され、131チームすべてに自らエントリーする平等な権利が与えられます。



ポジティブな話し合いへ
ブロックで精査・推薦された「自信のあるチーム」だけが集まるため、最終決定の場が「なぜ選ばれないか」ではなく「なぜ素晴らしいか」というポジティブな議論に変わります。



質の向上
ブロックごとの精査により、より深く、透明性のある確実な選出が可能になります。

ウェルフェア選出基準 エントリーから体現まで



「教え込む」から「成長を支える」へ

NotebookLM

エントリーの前提条件：意志を示す 自己推薦書



NotebookLM

選出ロジック：ボトムアップとトップダウンの融合

札幌地区での最終判断

【公表】

自己推薦書と選出理由をHPに掲載

情報の整合性と
モデル適性

全道大会で「札幌地区のウェルフェア」を象徴する模範チームとなれるか。

ブロック推薦の視点

推薦 (Recommendation)

地域性・
普及への
貢献度

「このチームなら胸を張って推薦できる」と言い切れるか。
他チームに「ウェルフェアの考え方」が広がる波及効果があるか。

NotebookLM

書類からコートへ：真価は試合で問われる



Entry Documents

指導者
(Coach)

選手
(Player)

保護者
(Parent)

Match Reality

3視点で評価する

NotebookLM

指導者の視点 1：教え込む存在から、支える存在へ



1. ミスへの第一声

怒声ではなく、選択肢を広げる問いかけや励まし。



2. ライセンスの活用

知識を安全管理や最新理論として還元しているか。



3. タイムアウトの質

一方的な指示ではなく、選手が意見を出せる「待ち」の姿勢。



4. 全員への関心

ベンチの控え選手に対しても成長を促す目配りと声掛け。



5. 審判へのリスペクト

判定に感情を露わにせず、クリーンなバスケットを体現。

指導者の視点 2：安全と尊厳を守る責任



6. 練習計画の整合性

勝ち負け以上に、計画に基づいた「挑戦」を評価しているか。



7. 交代の意図

「罰」ではなく、学びやリフレッシュを目的とした前向きな管理。



8. 相手指導者への敬意

共に子どもを育てるパートナーとしての挨拶や交流。



9. 暴言・暴力の皆無

いかなる状況でも、尊厳を傷つける言動や威圧的態度がない。



10. 勝利への健全な執着

勝敗の結果だけで選手の価値を決めつけていないか。

選手の視点 1：クリーンなバスケットと誠実さ



1. セルフジャッジの潔さ

アウトオブバウンズなどを正直に自己申告する誠実さ。



2. 相手への配慮

倒れた相手に手を貸し、無事を確認する振る舞い。



3. 審判への態度

判定を受け入れ、気持ちよくプレーしている。



4. ベンチの整理

ウェアや水筒が整頓され、準備が習慣化されているか。



5. 選手間のポジティブトーク

ミスを責めず、「次!」「切り替えよう」と前向きな声。

選手の視点 2：主体性と夢中になる力



6. 主体的な解決

停滞時に選手同士で集まり、自分たちで状況を打開しようとする。



7. 全力のプレー(夢中)

点差に関わらず最後までボールを追いかけ、夢中になっている。



8. 用具への感謝

ボールや会場設備を丁寧に扱い、感謝を行動で示す。



9. ベンチワークの参画

控え選手もスコア確認やサポートを自発的に行っている。



10. 試合後の立ち振る舞い

勝って驕らず、負けて腐らず、相手と役員に挨拶をする。

保護者の視点1：自立を妨げない応援



1. 応援の内容

指導（「打て！」「戻れ！」）ではなく、努力を称えるポジティブな声援。



2. 敵味方ない拍手

相手チームの好プレーにも自然と拍手が送られているか。



3. 審判へのマナー

判定を受け入れ、気持ちよく応援している。



4. 子どもの自律支援

荷物運びなどを大人がやり過ぎず、子どもの自立を見守る。

保護者の視点2：温かく見守るチーム風土



6. 会場マナーの遵守

ゴミの持ち帰りや観戦ルールへの遵守



7. 応援の眼差し

どの子どもにも温かい拍手

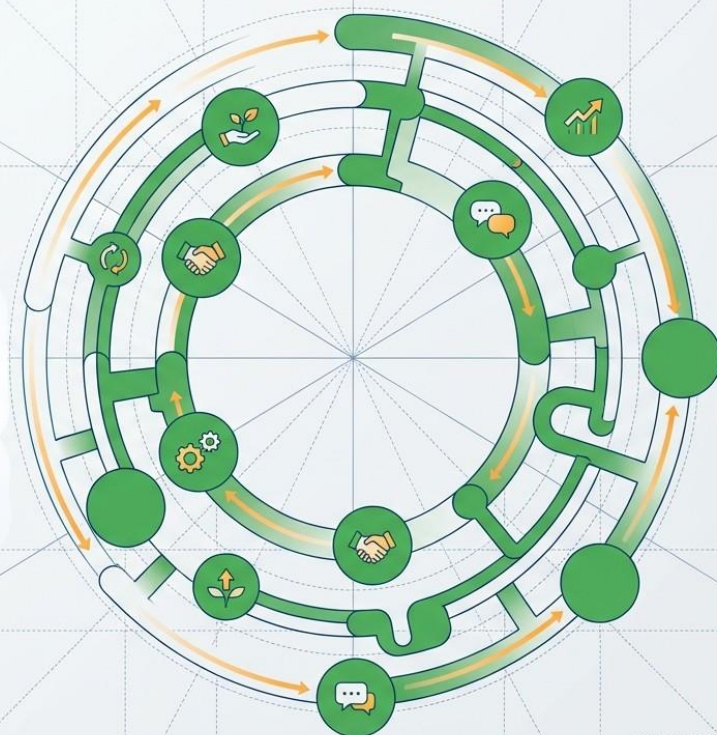


8. 試合終了時の眼差し

どんな勝敗でも温かく迎えている

R9年度に向けた 構想案

推進するブロックに
利点がある仕組みづくり



NotebookLM

ウェルフェアを推進するブロックへ配分

春季交流戦（全16チーム）

12枠：ドント式（ブロック総チーム数による配分）

4枠：ウェルフェア推進枠
（調整枠）

秋季交流戦（全20チーム）

16枠：ドント式（ブロック総チーム数による配分）

4枠：ウェルフェア推進枠
（調整枠）

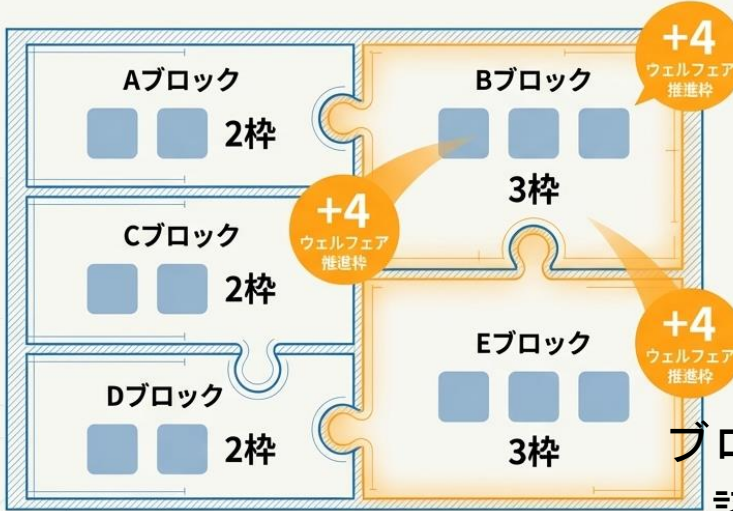
札幌地区交流戦への出場枠の一部を
ウェルフェアを推進するブロックへ配分する

※振り分けられない枠が出た場合は、ドント式へ還元されます。

NotebookLM

ウェルフェア推進枠の「配分イメージ」

特定のチーム単体ではなく、「ウェルフェア推進を図るブロック全体」へ枠を付与します。



ウェルフェア枠付与の条件（例）

- ・前年度ウェルフェアオフィサー枠で道大会へ出場しているチームがある
- ・自己推薦エントリーしたチームの割合が高い
- ・推進を目指しているチームの割合が高い

ブロック全体で推進していると認められる場合に配分する

NotebookLM

「ブロック全体での推進」を判断する4つの柱と8つの根拠

ウェルフェアの実現

柱1: 意識と波及

① 自己推薦
エントリー率

⑦ リスペクト
宣言の実施

柱2: 教育と支援

② ウェルフェア
研修会の開催

⑤ 若手・審判へ
のサポート体制

柱3: 客観性と透明性

③ モニタリング
シートの蓄積

⑥ 推薦理由の
言語化レベル

柱4: 文化と循環

④ 相互称賛の
仕組み

⑧ 体験の還元

NotebookLM

【柱1&2】意識の波及と、大人の学び



意識と波及

- ① 自己推薦エントリー率（普及の広がり）
推薦数が多いことは、ブロック運営委員が各チームへ意義を適切にアナウンスし、意識改革を促した直接的な証拠。
- ⑦ リスペクト宣言の実施
ブロック予選大会で指導者間を通じて啓発を組織的に行い、「ワクワクする環境づくり」の方針と合致しているか。



教育と支援

- ② 「ウェルフェア研修会」の開催実績
リスペクトやコンプライアンスに関する独自の勉強会。枠を争うだけでなく「学び続ける指導者」を育てる環境。
- ⑤ 若手指導者・審判へのサポート体制
経験の浅い指導者や審判を威圧せず温かく育てる。



NotebookLM

【柱3】客観的な事実と、情熱の言語化

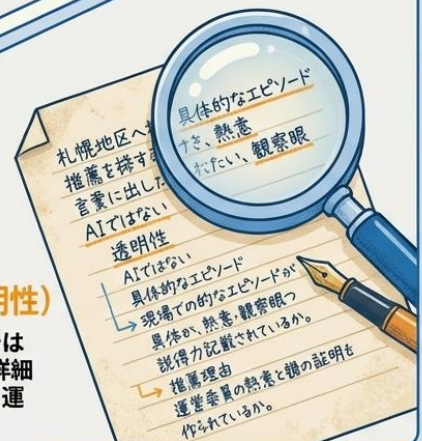


③ モニタリングシートの組織的な運用と蓄積

運営委員が持ち回りで全試合を観察し記入。「なんとなくの印象」ではなく、組織として客観的な事実に基づいた選考プロセスを構築しているか。

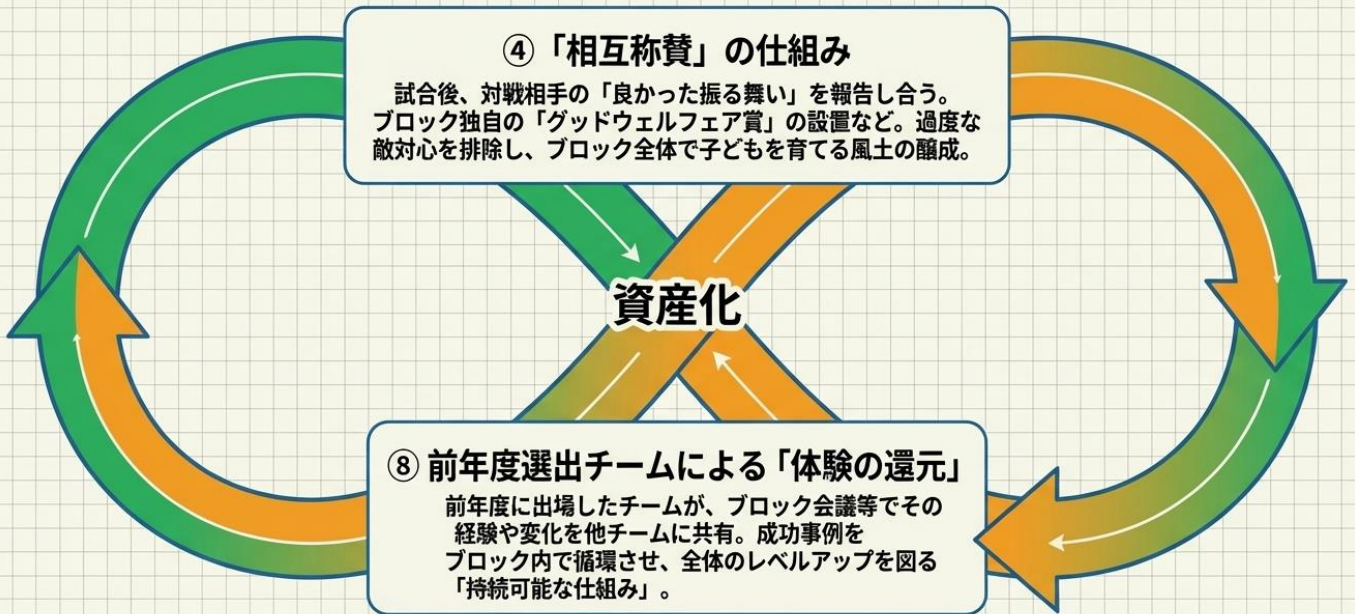
⑥ 推薦理由の言語化レベル (透明性)

札幌地区へ推薦を挙げる際、AIの言葉ではない「現場での具体的なエピソード」が詳細かつ説得力を持って記載されているか。運営委員の熱意と観察眼の証明。



NotebookLM

【柱4】 称賛の風土と、経験の還元

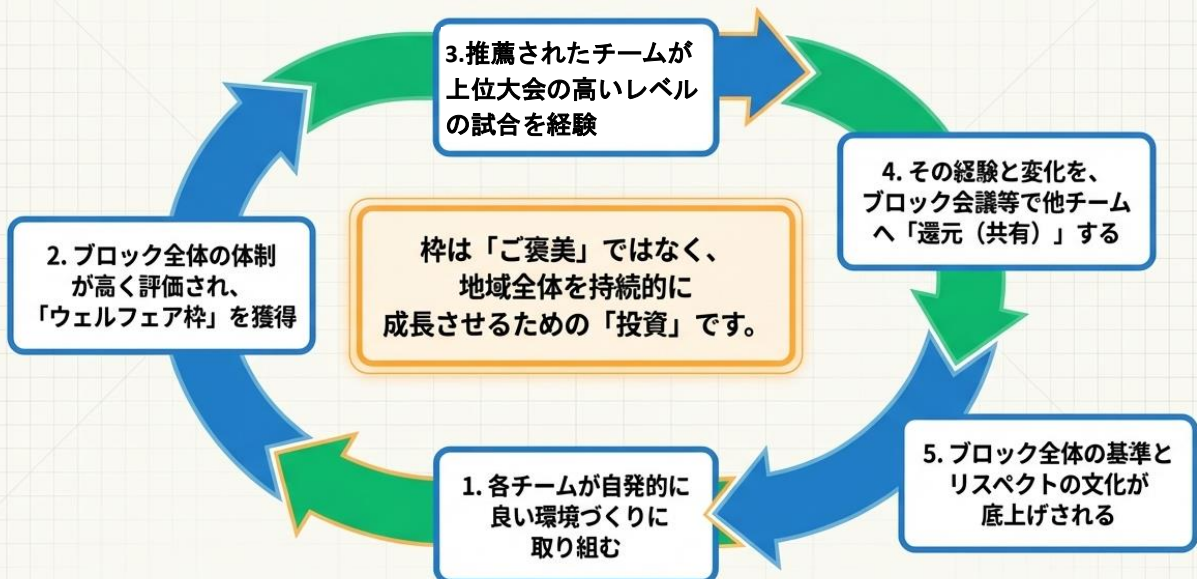


NotebookLM

シンセシス：なぜ特定のチームではなく、「ブロック」に枠を与えるのか？

EDITORIAL
BLUEPRINT

好循環のエコシステム図



NotebookLM

2026 札幌地区バスケットボール協会U12部会 大会予算

大会名	春季大会	秋季大会	新人大会	リーグ戦	体験会
参加料	13,000	14,000	8,000	1,000	-

[収入]

項目	金額	金額	金額	金額	金額
1.協賛金	100,000	0	0	0	0
2.広告料	0	400,000	0	0	0
3.放映料	0	0	0	0	0
4.入場料	0	0	0	0	0
5.プログラム売上代	0	0	0	0	0
6.参加料	1,690,000	1,820,000	1,040,000	130,000	0
7.記念品等売上	0	0	0	0	0
8.補助金		100,000	0	0	0
9.講習会受講料	0	0	0	0	0
10.その他収益	0	0	0	0	600,000
合 計	1,790,000	2,320,000	1,040,000	130,000	600,000

[支出]

項目	金額	金額	金額	金額	金額
1.会議費	60,000	60,000	60,000	130,000	0
2.旅費交通費	140,000	160,000	124,000	0	0
3.通信運搬費	3,000	3,000	3,000	0	0
4.消耗品費	30,000	30,000	0	0	0
5.器具備品費	0	0	0	0	0
6.印刷製本費	380,000	650,000	0	0	0
7.賃借料	200,000	400,000	0	0	0
8.広告宣伝費	0	0	0	0	0
9.諸謝金	785,000	825,000	700,000	0	600,000
10.保険料	0	0	0	0	0
11.支払手数料	3,000	3,000	3,000	0	0
12.報償費	150,000	150,000	150,000	0	0
13.食糧費	39,000	39,000	0	0	0
14.雑費	0	0	0	0	0
合 計	1,790,000	2,320,000	1,040,000	130,000	600,000

令和8年4月11日

札幌地区バスケットボール協会 U12 部会
所属チーム各位

札幌地区バスケットボール協会 U12 部会
部会長 二又 利行

2026 登録推進事業（チーム体験会）について

札幌地区バスケットボール協会 U12 部会では、各チームで未入団者に対する体験会を開催することを通して競技者数の増加・登録推進を図り、より広くミニバスケットボールを広めていくことを目的として、下記のとおり登録推進事業を実施します。

【事業概要】

体験会を開催したチームに、1 回あたりコート設営費として 5,000 円を支給します。体験会は、「企画→周知→実施」の形式を支給対象とします。普段の練習に見学者が来たといったケースは支給対象としません。

【支給対象チーム】

2026 年度チーム JBA 登録チーム（申請書提出日時点で登録しているチーム）

【支給対象期間】

2026 年 4 月 1 日～9 月 30 日に開催した体験会を対象とします。

【申請可能回数】

各チーム 3 回分まで申請することができます。
男女で同時に開催する場合は、男女で 1 つのチームとみなします。

【その他】

コート設営費は予算の範囲内で支給します。
下記の順番で配分しますので、申請した分すべてに対し支給されるとは限りません。

1. 各チーム 1 回目分を配分
2. 上記 1 で予算が余った場合、各チーム 2 回目分を配分
3. 上記 1、2 で予算が余った場合、各チーム 3 回目分を配分

上記 1、2、3 の中で予算が上限額に達する場合は、申請書提出日が早いチーム順に配分します。

予算が余った場合、追加で支給するかは未定です。

【実施手順】

- ① 体験会を企画したら、すみやかに U12 部会に申請書をメールで提出してください。
(各チーム責任者⇒U12 部会)
↓
- ② 体験会終了後、期限内に U12 部会に報告書をメールで提出してください。
報告書提出期限：2026 年 10 月 10 日
(各チーム責任者⇒U12 部会)
↓
- ③ U12 部会から各ブロックへ、各ブロック分の支給対象チーム一覧を送付しお金を振り込みます。(U12 部会⇒各ブロック会計担当)
↓
- ④ 各ブロックから各チームへ、コート設営費を支給してください。各チームは領収書に記入してください。(各ブロック会計担当⇔各チーム責任者)
↓
- ⑤ 各ブロックから U12 部会へ、領収書を送付してください。
(各ブロック会計担当⇒U12 部会)

○申請書および報告書提出先・問い合わせ先

u12kibankyoka@gmail.com

各ブロック会計担当各位

U12 部会から各ブロック会計担当への、支給対象チーム一覧の送付とお金の振込は、10 月中旬を予定しています。

コート設営費を、各ブロックの代表者会議等を利用して各チームに支給し、領収書を受け取ってください。

各チームから受け取った領収書は、新人大会の領収書と一緒に U12 部会に郵送してください。

担当

札幌地区バスケットボール協会 U12 部会
会計 千代谷 隆大

2026年度 事務管理部門 活動計画

2026. 4. 11

【業務分担】

○担当副部長

- ・事務局会及び部会、グループ会議の招集・運営
集合形式、オンラインを併用し、計画的に会議の調整を行う
- ・HBA-U12部会との連携
ブロック単位でHBAとの連携を行う体制にシフトしていく
→ ブロックとHBA-U12の連携を強めていく

○代表グループ

- ・ブロック業務の全体調整、ブロック会議の招集・運営、各ブロック大会運営、HBA連携
HBA-U12、SBAからの情報伝達、他ブロックとの業務調整、大会運営等を行う

○総務グループ

- ・登録・エントリー業務、移籍・合同チーム対応、プログラム編集
Team JBA システム管理
JBAチーム・選手登録、各種大会へのエントリーの周知
移籍・合同チーム申請の対応
プログラム作成
- ・登録推進
体験会など、裾野を広げる活動のサポートを行う

○会計グループ

- ・会計業務、発注業務、スポンサー対応
適正に連絡・調整し予算を執行する

○広報グループ

- ・ホームページ管理、各種記録集約、データ配信
周知事項の整理、迅速な発信を行う
ホームページの効果的な運用を行う

2026年度 競技運営部門 競技会グループ活動計画

札幌地区 U12 リーグ 2026

前期リーグ 2026年4～5月 小学校体育館 他
中期リーグ 2026年8～10月 小学校体育館 他
後期リーグ 2027年1～3月 小学校体育館 他
各チーム年間10試合程度の交流試合を実施する。
後期リーグは一部U15ルールを採用して実施する。

第46回 春季札幌地区ミニバスケットボール選手権

2026年5～6月 小学校体育館 厚別区体育館 美香保体育館 他
トーナメント形式で、各ブロック成績上位チームがブロック交流戦に出場し、
北海道サマーフェスティバル出場に推薦するチームを決定する。
ウェルフェア推薦枠を設け、北海道サマーフェスティバル出場に推薦するチームを決定する。

第55回 秋季札幌地区ミニバスケットボール選手権

2026年10～11月 小学校体育館 厚別区体育館 恵庭市総合体育館 他
トーナメント形式で、各ブロック成績上位チームがブロック交流戦に出場し、
北海道大会・北海道ブロック道央大会出場に推薦するチームを決定する。

2026年度 札幌地区 U11 新人大会

2026年12～2027年2月 小学校体育館 他
各ブロックでU11世代によるトーナメント形式の大会を実施する。

第5回北海道ブロック道央大会(小樽・南空知・札幌地区)

2027年2月6日(土)・7日(日) 南空知地区で開催する。

2026年度 ユース育成グループ 活動計画

【活動内容】

①育成センター（DC マネージャー：阿部・男子コーチ：前田・女子コーチ：桑原）

○育成センター講習会の企画・運営

・年5回の実施

- ① 4月19日（日） Eブロック
- ② 5月17日（日） Dブロック
- ③ 7月 5日（日） Cブロック
- ④ 8月16日（日） Bブロック
- ⑤ 8月23日（日） Aブロック

- ・活動・収支報告書の作成、提出、清算
- ・指導者も参加し、コーチング講習会を兼ねる
- ・次年度に向けた計画（日程・予算書の作成など）

★2026年度も、各ブロックで1回ずつ開催します。選手とともに、指導者にも北海道DCの内容を伝達します。内容は、2025年度の9月に行われた北海道DCのものです。

★選手は、各チームから1名ずつの参加予定です。また、指導者もできるだけ参加をしていただき、JBAが強化したい内容や指導してほしい技術などの情報を得る場とします。

★午前中開催を予定しています。各ブロックでの開催とするため、各ブロックで会場確保をお願いします。各ブロックの選手と指導者が集まるため、駐車場も含め、参集しやすい会場の確保のご協力をお願いします。

②指導者育成

○コーチング講習会（DC 育成センターと兼ねる）

○インテグリティ研修会の企画・運営

- ・春季・秋季大会時にインテグリティ研修会を開催

③北海道DC

○9月12日（土）・13日（日）開催予定

○DCコーチ参加予定

③北海道DCブロック交流会

○3月13日（土） 会場：当別町総合体育館

○秋季大会1～4位チームから1名ずつ参加予定

各種登録手続きについて

2023年3月作成
2023年7月一部改訂
北海道バスケットボール協会 U12部会

競技者、コーチ、スタッフ登録、 移籍手続き、合同チームの取り扱いについて

1. 競技者及び指導者登録、各種大会参加枠数算出について

(1) 競技者登録について

- ①各地区協会の登録手続きに沿って、登録作業を確実にお願いいたします。
- ②北海道バスケットボール協会主催大会につきましては、以下を登録期限とします。
 - ・北海道ミニバスケットボールサマーフェスティバル・・・5月末日まで
→5月末の登録数をもとに、枠数を算出し、6月中旬ごろに枠決定・通知
 - ・北海道ミニバスケットボール大会・・・・・・・・・・・・・・9月末日まで
→9月末の登録数をもとに、枠数を算出し、10月中旬ごろに枠決定・通知
 - ・北海道ブロックミニバスケットボール大会・・・・・・・・・・・・・・9月末日まで

以上の期限以降の登録や移籍があっても、大会への参加は認められません。

(2) コーチ登録について

- ①ベンチに入って指揮を執る可能性のある指導者は、競技者と同様に上記期限までに、コーチとしてチームへの登録を行ってください。
期限以降の登録や移籍があっても大会への参加は認められません。
- ②ベンチに入って指揮を執ることができるのは、原則、D級コーチライセンス以上を有する方とします。

※サマーフェスティバルのみ、
特例としてE級コーチライセンスを認めます。

各地区U12部会は、競技者登録に合わせて、地区での予選会等において、各チームの「競技者登録一覧表」などを活用して、登録内容の確認作業を確実にお願いいたします。

2

③大会エントリー時のスタッフ欄の表記は以下の通りです。

- ・ヘッドコーチ (原則D級コーチライセンス以上が必要)
- ・アシスタントコーチ (コーチライセンスを保持することが望ましい)
- ・アシスタントコーチ (コーチライセンスを保持することが望ましい)
- ※アシスタントコーチの内、1名をファーストアシスタントコーチとする。
- ・マネージャー (コーチライセンスの保持を問わない)

※マネージャーについては登録期限の設定はありません。

※D級を保持するヘッドコーチ、ファーストアシスタントコーチが、種々の権限をもつ。

※ヘッドコーチ、アシスタントコーチのうち、最低1名以上がコーチライセンス (D級、サマーフェスティバルのみE級も可) を保持していることとする。

ただしアシスタントコーチもチーム登録する際にE級コーチライセンスを保持するよう促していく。

「ミニバスケットボール競技規則の取り扱いについて_20210801」 および「2022バスケットボール競技規則」より

3

(3) 予選会における登録の確認について（各地区U12部会での業務）

サマーフェスティバル、北海道大会、北海道ブロック大会の出場権に関係する予選会においては、予選会にて出場権を獲得した後、上記大会前での登録不備対応を防ぐために、予選会の大会エントリー時に確実に登録状況を確認し、不備がある場合には、予選会開催前までにチームへ連絡し対応してもらうようにしてください。

<TeamJBAでの登録の際の注意事項>

- ・『コーチ』...ヘッドコーチ・アシスタントコーチ（ライセンス保持者が望ましい）
- ・『帯同審判』...審判員（ライセンス保持者が望ましい）
- ・『チームスタッフ』...マネージャー等

<登録の確認方法について（例）>

- 例1) TeamJBAを活用した大会エントリーを行い、エントリー情報にて登録状況を確認する。
例2) プログラム用メンバー表とTeamJBAより競技者登録一覧表の両方を参加チームから提出してもらい、登録に不備がないか確認する。

2. 移籍手続きについて

(1) 選手の移籍手続きについて

別紙、移籍手続きに関する資料を、地区内で周知願います。

（資料を、ホームページ上にアップすることに合わせて、各チームへも配信願います。）

全ての移籍手続きにつきましては、

移籍申請書の作成、審査、承認→→→Team-JBAの手続きの順に進めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

移籍手続きの際は、必ず指導代表責任者の方が移籍事由を確認し、移籍申請書のチーム代表者の欄に氏名を記載してください。



U12 カテゴリー登録運用細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「JBA」といふ）基本規程の第3章 所属団体、第4章 競技者、第5章 登録および移籍に基づき、U12カテゴリーにおける登録の運用に関し必要な事項を定める。

(対象チーム)

第2条 この細則の対象となるチームは、JBA基本規程 第3章 所属団体、第2部 加盟チームに定める、加盟種別がU12（以下、「U12カテゴリー」といふ）のチームとする。

(対象競技者)

第3条 この細則の対象となる競技者は、登録年度の4月1日時点で12歳未満の者とする。ただし、過年齢であっても小学校に就学している競技者の登録は認める。

(登録の条件)

第4条 U12カテゴリーのチームに登録する場合は、次の1.2.の条件をともに満たすこと。
1. 競技者の生たる居住地当該チームの定める活動場所まで安全に無理なく集合して活動し、活動中は安全に無理なく帰宅できる範囲のチームであること。
2. 競技者の移動中の安全の確保について、当該競技者の保護者が責任をもちて行える環境であること。

(雑則)

本細則の改廃は、アンダーカテゴリー部会を経て都会長が行う。
（附則） この細則は2019年4月1日より施行する。



U12 カテゴリー移籍運用細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「JBA」といふ）基本規程の第3章 所属団体、第4章 競技者、第5章 登録および移籍に基づき、U12カテゴリーにおける移籍の運用に関し必要な事項を定める。

(対象チーム・対象競技者)

第2条 この細則の対象となるチームおよび競技者は、U12カテゴリー登録運用細則第2条および第3条に定めるチームおよび競技者とする。ただし、U15カテゴリーのチームに所属する、登録年度の4月1日時点で10歳以上の競技者が、U12カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則の対象競技者とする。

(移籍の定義)

第3条 U12カテゴリーにおいては、これまで登録していたチームとは異なるチームに登録することを移籍とする。
1. U12カテゴリーのチームに登録している、登録年度の4月1日時点で10歳以上の競技者が、U15カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則の第4条は適用しない。
2. U15カテゴリーのチームに登録している、登録年度の4月1日時点で10歳以上12歳未満の競技者が、U12カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則を適用する。

(移籍の条件)

第4条 この細則の対象となる競技者の移籍は、次の1.2.に於ける「特別な事情」が認められること。
1. 転居
2. 人間関係等のトラブル

(移籍の回数)

第5条 移籍の回数制限は設けない。

(移籍の承認)

第6条 U12カテゴリーにおける移籍の承認は、以下の通りとする。
1. 移籍の承認は移籍元チーム及び移籍元チームの所属する都道府県協会が行う。
但し、移籍承認者がU12カテゴリーのチームの関係者または競技者の関係者である場合は、都道府県協会が別途移籍の承認を行う者を定めること。

(移籍の申請)

第7条 移籍の申請は、次の通りとする。
1. 移籍を申請する者は、「U12カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入し、TeamJBA（会員登録管理システム）を通じて移籍申請を行う。
2. 都道府県協会は、移籍の申請を受理してから原則14日以内に移籍の可否を行う。

(雑則)

本細則の改廃は、アンダーカテゴリー部会を経て都会長が行う。
（附則） この細則は2019年4月1日より施行する。
2023年7月1日一部改定



U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

U12カテゴリーの登録および移籍については、2019年度より、JBA基本規程およびU12カテゴリー登録運用細則、U12カテゴリー移籍運用細則に基づき、全国共通の規程にて運用しております。

U12カテゴリーの移籍については、U12カテゴリー移籍運用細則および以下の手続き方法をご確認いただき、手続きを行っていただきますようお願いいたします。

■ U12 カテゴリー移籍申請の対象となる方

- ＜移籍にあたって＞
 - ① 移籍は、「U12カテゴリー移籍運用細則」第4条1.2.の特別な事情がある場合に認められます。
 - ② 登録の年度更新に合わせて所属チームを変更することも移籍とします。
- ＜対象となる選手＞
 「U12カテゴリー登録運用細則」第3条に定める競技者のうち、U12カテゴリーに登録している競技者および過去に登録したことがある競技者となります。

- ＜留意点＞
 - 「特別な事情（転居、人間関係等のトラブル）があれば移籍を認めることは、競技者にバスケットボールの競技環境を確保するためであり、決して強化や勝至上主義を促すものではありません。
 - 移籍は、所定の「U12カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入・捺印の上、TeamJBA（会員登録管理システム）を通じて移籍申請を行い、移籍が承認された場合のみ認められます。U12カテゴリーの移籍の可否は、都道府県バスケットボール協会によって判断されます。

■ U12 カテゴリー移籍申請 受付期間

U12カテゴリーの移籍については、随時、申請を受け付けます。但し、登録受付期間は毎年度2月末までとなります。承認まで2週間程度かかりますので、移籍手続きは余裕をもたせて行ってください。また、2月以降の移籍申請を行った場合、翌年度登録（移籍）となる場合がございますので、予めご了承ください。

※移籍申請書に記入漏れ等の不備があった場合には、移籍申請が認められない場合や結果通知が遅れる場合がありますので、予めご了承ください。

※都道府県協会が移籍申請書を受け取り、原則2週間程度で移籍の可否を通知しますが、都道府県をまたぐ移籍申請や事務局の休止期間中など、各都道府県協会によって多少前後する場合がありますので、予めご了承ください。

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

■ 移籍申請にあたっての事前準備

手順	詳細
① U12カテゴリー移籍申請書入手	・JBA公式サイトから「U12カテゴリー移籍申請書」を入手してください。 【JBA公式サイト】 http://u12.japanbasketball.jp/registration/
② 移籍申請書に必要事項を記入	・申請者の欄は、移籍を希望する競技者の保護者が記入してください。 ・日中連絡がとれる連絡先を記入し、移籍理由は選択肢から選んでください。 ※記入漏れや誤りがある場合、移籍承認ができませんので、ご注意ください。
③ 移籍元チームの承諾を得る	・移籍元（所属）チームの代表者に承諾を得てください。（*1） ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が必要となります。
④ 移籍を希望するチームの承諾を得る	・移籍を希望するチームの代表者に承諾を得てください。 ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が必要となります。
⑤ 移籍先チームの登録担当者へ移籍申請書提出	・申請者は、「移籍申請書（全て記入・捺印されたもの）」のデータを、移籍先チームの登録担当者へ提出してください。 ※データはPDFまたは画像データとし、ファイル名は以下のようにしてください。 「U12移籍申請書_メンバーID(9桁)_移籍申請者氏名(フルネーム)」 ※データ化する際、移籍申請書全体が写るよう撮影してください。

■ 移籍申請手続き

手順	詳細
① TeamJBAにて移籍申請手続き	・移籍先チームの登録責任者は、TeamJBA「メンバー代理登録申請」より、競技者の「1人ずつ追加」から、対象となる競技者を追加登録してください。 ・追加登録の際、「必須項目」を記入し、「提出ファイル」に対象となる競技者の「移籍申請書（PDFまたは画像データ）」を添付し、「申請理由」を記入の上、登録（移籍）申請を行ってください。 ※これまで利用していたメンバーIDにて登録を行ってください。 ※申請理由には「●●」を理由に、「●●チーム（移籍先チーム名）への移籍を希望しているため」●●を記載してください。
② 移籍元チームの脱退申請の承認	・移籍元チームの登録責任者は、対象となる競技者の「脱退申請」を承認してください。（*2）
③ 都道府県協会にて移籍の可否判断	・移籍元チーム及び移籍先チームの都道府県協会にて、「移籍申請書」をもとに、移籍理由等の確認を行い、移籍の可否が行われます。 ※移籍の可否判断には2週間程度かかります。 ※移籍可否の結果は、移籍先チームの登録責任者へ通知されます。
④ 登録料の納付	・都道府県協会が移籍を承認後（*3）、「登録料を納付」してください。 ※年度内、既に登録料を納めている場合、所属都道府県に変更がなければ登録料の徴収はありません。
⑤ 登録（移籍）完了	・TeamJBA（チーム登録責任者）にて、PDF登録証を出力してください。 ・登録（移籍）手続き完了後、大会に出場できる権利が得られます。但し、移籍後の大会への出場は大会規程に従ってください。

(*1) 移籍元（所属）チームが所属選手の移籍を承諾すべきであるにもかかわらず、これを行わない場合は、その旨、移籍元チームが所属する都道府県協会へお申し出ください。
(*2) 既に移籍元チームで退部処理されている場合や年度替わりの場合には、移籍元チームの承認作業はスキップされます。

3. 年度当初の登録の手続きと大会エントリー手続きについて

(例...AとBの2チームの合同の場合、Aチームの方が人数が多いとする。)

- (1) 年度当初のTeam-JBAに登録は、Aチーム、Bチームそれぞれで行う。
- (2) 大会へのエントリーの際に、Team-JBAを使用する際には、
Aチームの方から大会エントリーの画面に進み、その画面上で、
大会用エントリーシート（別途、地区協会にて作成）にBチームの選手
と合わせ、エントリーを行う。

※ただし、Team-JBAを用いない場合は、地区協会の指示に従う。

サマーフェスティバル、北海道大会、北海道ブロックエリア大会については、
Team-JBAを用いて大会エントリーをしていただく予定です。

以上のようにすると、新たに合同チームを作成したり、結成、解散するときに
移籍手続きを行う必要がありません。

2022年5月

サマーフェスティバル及び北海道大会（地区予選も含む）、ブロックエリア大会 にかかる選手の学年と合同チーム参加の申し合わせ事項

1. 目的

近年、団員の確保が困難な状況から低学年が試合に出場しなくてはならないチームの増加、並びに団員数が大会出場の規定に満たないため、チームの統廃合を余儀なくされている状況等が数見される。
低学年選手が出場し試合を行うことは、格差の激しいなどから非常に危険な状態が想定される。また、規定人数に満たないチームが増え、地域内での統廃合が進むことは競技環境整備の基礎となる U-12 世代のチームが地域から無くなることとなり、バスケット界のみならずスポーツ界の普及育成世代の U-12 に欠かせない大きな要因であることから、安易な合併を行わずに大会参加を可能とすることを目的として、サマーフェスティバル並びに北海道大会の本大会及び予選、ブロックエリア大会（以下「ブロック大会等」という。）に参加するメンバーの望ましい選手の選考、および規定人数に満たないチームの参加の費用の申し合わせ事項を、定め幅広く活動できることを目的とする。

2. ブロック大会等のプレー上の危険回避

チームがブロック大会等に参加する際は、体格および技術面を配慮して、出場を判断するものとする。

3. 合同チームの大会エントリー

JBA登録が8人に満たないチームは、地区協会の承認を得た場合に限り、活動に支障がない範囲の距離にある同一地区内のチームと合同による大会参加を認めるものとする。
合同チームはエントリーする前に構成するチーム事情に関して、地区経由でHBAへ別に定める理由書を提出するものとする。

なお、恣意的に登録しないプレーヤーがいるなど、強化目的と認められる場合は、大会参加の承認を取り消すことができる。

4. 合同チームの解消

合同チームは、次に掲げるいずれかに該当した場合に解消することができる。また、合同チームを解消する場合は、地区協会へ報告するものとする。

- (1) 構成するチームのひとつ以上が規定人数を満たした場合。ただし、構成するチーム間の合意があり、且つ、地区で承認された場合はこの限りではない。
- (2) エントリーした大会が終了した時点。なお、本規定はHBAの独自規定のため、全国大会に関しては、別途JBAと協議を要する。
- (3) 年度の終了時

5. 定めのない事項

この規定に定めのない事項に関しては、HBAが協議し決定する。

大会参加規定【例】

- ・エントリーするプレーヤーは3年生以上を基本とし、チームの意向により2年生以下をエントリーすることができる。※次ページのQ&AのQ1・2を参照
- ・規程人数に満たないチームは近隣のチームと合同で参加することができる。その場合、事前に主催者へ届出するものとする

資料④ 大会参加にかかる望ましい学年と合同チームの取扱

◆合同チーム理由書◆ ※色付きセルは記入不要

申請年月日	西暦 年 月 日						
申請代表者氏名							携帯番号
チーム名							
所属地区名							
合同チームの構成	人数(3年生以下は参考)						
JBA登録チーム名	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	計
①							
②							
③							
計	0	0	0	0	0	0	0
理由							
チームの通常練習時の開場・曜日	月	火	水	木	金	土	日
①	0						
②	0						
③	0						
大会参加時のチーム名							
地区の意見							
地区受付年月日	西暦 年 月 日						
承認者職・氏名							
HBA U12部会受付年月日	西暦 年 月 日						
承認年月日	西暦 年 月 日						
通知年月日・連絡者	西暦 年 月 日・連絡者						
申請書類の情報は、合同チームの調査・連絡・承認に使用するもので、当該業務以外に使用することはありません。							

書式② 合同チーム理由書

【登録に関する問い合わせについて】

1. 登録内容についての問い合わせについては・・・
各地区協会U12部会登録手続き担当者へ連絡してください。
2. TeamJBA上での問い合わせについては・・・
TeamJBA問い合わせフォームより行ってください。

※北海道バスケットボール協会事務局への問い合わせはできません。

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

U12 カテゴリーの登録および移籍については、2019 年度より、JBA 基本規程および U12 カテゴリー登録運用細則、U12 カテゴリー移籍運用細則に基づき、全国共通の規程にて運用しております。

U12 カテゴリーの移籍については、U12 カテゴリー移籍運用細則および以下の手続き方法をご確認いただき、手続きを行っていただきますようお願いいたします。

■ U12 カテゴリー移籍申請の対象となる方

<移籍にあたって>

- ① 移籍は、「U12 カテゴリー移籍運用細則」第 4 条 1.2.の特別な事情がある場合に認められます。
- ② 登録の年度更新に合わせて所属チームを変更することも移籍とします。

<対象となる選手>

「U12 カテゴリー登録運用細則」第 3 条に定める競技者のうち、U12 カテゴリーで登録している競技者および過去に登録したことがある競技者としてします。

<留意点>

- 「特別な事情（転居、人間関係等のトラブル）があれば移籍を認める」ことは、競技者にバスケットボールの競技環境を保証するためであり、決して強化や勝利至上主義を促すものではありません。
- 移籍は、所定の「U12 カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入・捺印の上、TeamJBA（会員登録管理システム）を通じて移籍申請を行い、移籍が承認された場合のみ認められます。
U12 カテゴリーの移籍の可否は、都道府県バスケットボール協会によって判断されます。

■ U12 カテゴリー移籍申請 受付期間

U12 カテゴリーの移籍については、随時、申請を受け付けます。

但し、登録受付期間は毎年度 2 月末までとなります。承認まで 2 週間程度かかりますので、移籍手続きは余裕をもって行ってください。

また、2 月以降の移籍申請を行った場合、翌年度登録（移籍）となる場合がございますので、予めご了承ください。

※移籍申請書に記入漏れ等の不備があった場合には、移籍申請が認められない場合や結果通知が遅れる場合がありますので、予めご了承ください。

※都道府県協会が移籍申請書を受理してから、原則 2 週間程度で移籍の可否を通知しますが、都道府県をまたぐ移籍申請や事務局の休止期間中など、各都道府県協会によって多少前後する場合がありますので、予めご了承ください。

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

■ 移籍申請にあたっての事前準備

手順	詳細
① U12 カテゴリー 移籍申請書を入手	・JBA 公式サイトから「U12 カテゴリー移籍申請書」を入手してください。 【JBA 公式サイト】 http://u12.japanbasketball.jp/registration/
② 移籍申請書に 必要事項を記入	・申請者の欄は、移籍を希望する競技者の保護者が記入してください。 ・日中連絡がとれる連絡先を記入し、移籍理由は選択肢から選んでください。 ※記入漏れや誤りがある場合、移籍承認ができませんので、ご注意ください。
③ 移籍元チームの 承諾を得る	・移籍元(所属)チームの代表者に承諾を得てください。(* 1) ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、 チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が 必要となります。
④ 移籍を希望する チームの承諾を得る	・移籍を希望するチームの代表者に承諾を得てください。 ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、 チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が 必要となります。
⑤ 移籍先チームの 登録担当者へ 移籍申請書を提出	・申請者は、「移籍申請書（全て記入・捺印されたもの）」のデータを、 移籍先チームの登録責任者へ提出してしてください。 ※データは PDF または画像データとし、ファイル名は以下のようにしてください。 「U12 移籍申請書_メンバーID(9桁)_移籍申請者氏名(フルネーム)」 ※データ化する際、移籍申請書全体が写るように撮影してください。

■ 移籍申請手続き

手順	詳細
① TeamJBA にて 移籍申請手続き	・移籍先チームの登録責任者は、TeamJBA「メンバー代理登録申請」より、 競技者の「1人ずつ追加」から、対象となる競技者を追加登録してください。 ・追加登録の際、「必須項目」を記入と、「提出ファイル」に対象となる競技者の 『移籍申請書（PDF または画像データ）』を添付し、「申請理由」を記入の上、 登録(移籍)申請を行ってください。 ※これまで利用していたメンバーID にて登録を行ってください。 ※申請理由には「●●を理由に、●●チーム（移籍先チーム名）への移籍を 希望しているため」と記載してください。
② 移籍元チームの 脱退申請の承認	・移籍元チームの登録責任者は、対象となる競技者の「脱退申請」を承認して ください。(* 2)
③ 都道府県協会にて 移籍の可否判断	・移籍元チーム及び移籍先チームの都道府県協会にて、「移籍申請書」をもとに、 移籍理由等の確認を行い、移籍の可否が行われます。 ※移籍の可否判断には 2 週間程度かかります。 ※移籍可否の結果は、移籍先チームの登録責任者へ通知されます。
④ 登録料の納付	・都道府県協会が移籍を承認後(* 3)、「登録料を納付」してください。 ※年度内、既に登録料を納めている場合、所属都道府県に変更がなければ 登録料の徴収はありません。
⑤ 登録(移籍)完了	・TeamJBA（チーム登録責任者）にて、PDF 登録証を出力してください。 ・登録（移籍）手続き完了後、大会に出場できる権利が得られます。但し、 移籍後の大会への出場の可否は大会規程に従ってください。

(* 1) 移籍元（所属）チームが所属選手の移籍を承諾すべきであるにもかかわらず、これを行わない場合は、その旨、移籍元チームが所属する都道府県協会へお申し出ください。

(* 2) 既に移籍元チームで退部処理がされている場合や年度替わりの場合には、移籍元チームの承認作業はスキップされます。

U12 カテゴリー登録運用細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「JBA」という）基本規程の第3章 所属団体、第4章 競技者、第5章 登録および移籍に基づき、U12 カテゴリーにおける登録の運用に関して必要な事項を定める。

(対象チーム)

第2条 この細則の対象となるチームは、JBA 基本規程 第3章 所属団体、第2節 加盟チームに定める、加盟種別がU12（以下、「U12 カテゴリー」という）のチームとする。

(対象競技者)

第3条 この細則の対象となる競技者は、登録年度の4月1日時点で12歳未満の者とする。ただし、過年齢であっても小学校に就学している競技者の登録は認める。

(登録の条件)

第4条 U12 カテゴリーのチームに登録する場合は、次の1.2.の条件をともに満たすこと。

1. 競技者の主たる居住地から当該チームの主たる活動場所まで安全に無理なく集合して活動し、活動後は安全に無理なく帰宅できる範囲のチームであること。
2. 競技者の移動中の安全の確保について、当該競技者の保護者が責任をもって行える環境であること。

(雑則) 本細則の改廃は、アンダーカテゴリー部会を経て部会長が行う。

(附則) この細則は2019年4月1日より施行する。

U12 カテゴリー移籍運用細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「JBA」という）基本規程の第3章 所属団体、第4章 競技者、第5章 登録および移籍に基づき、U12 カテゴリーにおける移籍の運用に関して必要な事項を定める。

(対象チーム・対象競技者)

第2条 この細則の対象となるチームおよび競技者は、U12 カテゴリー登録運用細則第2条および第3条に定めるチームおよび競技者とする。ただし、U15 カテゴリーのチームに所属する、登録年度の4月1日時点で10歳以上の競技者が、U12 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則の対象競技者とする。

(移籍の定義)

第3条 U12 カテゴリーにおいては、これまで登録していたチームとは異なるチームに登録することを移籍とする。

1. U12 カテゴリーのチームに登録している、登録年度の4月1日時点で10歳以上の競技者が、U15 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則の第4条は適用しない。
2. U15 カテゴリーのチームに登録している、登録年度の4月1日時点で10歳以上12歳未満の競技者が、U12 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則を適用する。

(移籍の条件)

第4条 この細則の対象となる競技者の移籍は、次の1.2.にあげる「特別な事情」があれば認める。

1. 転居
2. 人間関係等のトラブル

(移籍の回数)

第5条 移籍の回数制限は設けない。

(移籍の承認)

第6条 U12 カテゴリーにおける移籍の承認は、以下の通りとする。

1. 移籍の承認は移籍元チーム及び移籍先チームの所属する都道府県協会が行う。
但し、移籍承認者がU12 カテゴリーのチームの関係者または競技者の関係者である場合は、都道府県協会が別途移籍の承認を行う者を定めること。

(移籍の申請)

第7条 移籍の申請は、次の通りとする。

1. 移籍を申請する者は、「U12 カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入し、TeamJBA（会員登録管理システム）を通じて移籍申請を行う。
2. 都道府県協会は、移籍の申請を受理してから原則14日以内に移籍の可否を行う。


(雑則) 本細則の改廃は、アンダーカテゴリー部会を経て部会長が行う。

(附則) この細則は2019年4月1日より施行する。

2023年7月1日一部改定

移籍申請の手順について（北海道ブロック）

2023.7.1 HBA U12 改訂版

	申請者及び該当チーム	Team JBA	地区協会	HBA U12部会
①移籍申請書作成	<ul style="list-style-type: none"> 申請書（JBAまたはHBA、地区協会HPよりダウンロードする）の書式に基づき申請者（競技者の保護者）が作成する。 保護者欄に必ず押印のこと。 			
②移籍元チームの承諾を得る	<ul style="list-style-type: none"> 移籍元（所属）チーム代表者の承諾を得て署名欄に記入、押印を依頼する。 			
③移籍を希望するチームの承諾を得る	<ul style="list-style-type: none"> 移籍を希望するチーム代表者の承諾を得て、署名欄に記入、押印を依頼する。 			
④移籍先チームの登録担当者へ移籍申請書を提出する	<ul style="list-style-type: none"> 申請者（競技者の保護者）は、「移籍申請書（全て記入されたもの）」のデータを、移籍先チームの登録責任者へ提出する。（PDFまたは画像） 			
⑤Team JBAにて移籍申請手続き	<ul style="list-style-type: none"> 移籍先チームの登録責任者は、TeamJBA「メンバー代理申請」より、競技者の「1人ずつ追加」から、対象となる競技者を追加登録してください。 追加登録の際、「必須項目」の記入と、「提出ファイル」に対象となる競技者の『移籍申請書』を添し、「申請理由」を記入の上、登録（移籍）申請を行ってください。 ※これまで利用していたメンバーIDを使用 ※申請理由は、「〇〇を理由に、〇〇チームへの移籍を希望しているため」と記載 		<p>移籍申請後 地区協会 および HBA U12に 承認申請 依頼連絡が 届く。</p> 	<p>移籍申請後 地区協会 および HBA U12に 承認申請 依頼連絡が 届く。</p> 
⑥移籍元チームの脱退申請の承認	<ul style="list-style-type: none"> 移籍元チームの登録責任者は、対象となる競技者の「脱退申請」を承認してください。 			
⑦地区協会にて移籍の可否判断	<ul style="list-style-type: none"> 移籍元チームの地区協会にて、「移籍申請書」をもとに、移籍理由等の確認を行い、移籍の可否判断を行います。 	地区協会承認	<p>審査・承認 （地区協会）</p>	
⑧地区協会からHBA U12へ、移籍申請書を送付	<ul style="list-style-type: none"> 移籍元チームの地区協会は、「移籍申請書」のデータを、HBA U12へ送付する。 		HBA U12へ 移籍申請書送付	
⑨HBA U12登録担当にて移籍の可否判断	<ul style="list-style-type: none"> HBA U12登録担当にて、「移籍申請書」をもとに、移籍理由等の確認を行い、移籍の可否判断を行います。 	HBA U12承認		<p>審査・承認 （HBA U12）</p>
⑩登録料の納付	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県協会が移籍を承認後、「登録料を納付」してください。 ※年度内、既に登録料を納めている場合、所属都道府県に変更がなければ登録料の徴収はありません。 			
⑪登録（移籍）完了				

サマーフェスティバル及び北海道大会、北海道ブロック大会 にかかる選手の学年と合同チーム参加の申し合わせ事項

1. 目的

近年、団員の確保が困難な状況から低学年が試合に出場しなくてはならないチームの増加、並びに団員数が大会出場の規定に満たないため、チームの統廃合を余儀なくされている状況等が散見される。

低学年選手が出場し試合を行うことは、格差の違いなどから非常に危険な状態が想定される。また、規定人数に満たないチームが増え、地域内での統廃合が進むことは競技環境整備の基礎となる U-12 世代のチームが地域から無くなることとなり、バス界のみならずスポーツ界の普及育成世代の U-12 に欠かせない大きな要因であることから、安易な合併を行わずに大会参加を可能とすることを目的として、サマーフェスティバル並びに北海道大会、北海道ブロック大会（以下「ブロック大会等」という。）に参加するメンバーの望ましい選手の選考、および規定人数に満たないチームの参加の準用の申し合わせ事項を、定め幅広く活動できることを目的とする

2. ブロック大会等のプレー上の怪我等の危険回避

チームがブロック大会等に参加する際は、体格および技術面を配慮して、出場を判断するものとする。

3. 合同チームの大会エントリー

JBA登録が8人に満たないチームは、地区協会の承認を得た場合に限り、活動に支障がない範囲の距離にある同一地区内のチームと合同による大会参加を認めるものとする。

合同チームはエントリーする前に構成するチーム事情に関して、地区経由でHBAへ別に定める理由書を提出するものとする。

なお、恣意的に登録しないプレーヤーがいるなど、強化目的と認められる場合は、大会参加の承認を取り消すことができる。

4. 合同チームの解消

合同チームは、次に掲げるいずれかに該当した場合に解消することができる。また、合同チームを解消する場合は、地区協会へ報告するものとする。

- (1) 構成するチームのひとつ以上が規定人数を満たした場合。ただし、構成するチーム間の合意があり、且つ、地区で承認された場合はこの限りではない。
- (2) エントリーした大会が終了した時点。なお、本規定はHBAの独自規定のため、全国大会に関しては、別途JBAと協議を要する。
- (3) 年度の終了時

5. 定めのない事項

この規定に定めのない事項に関しては、HBAが協議し決定する。

大会参加規定【例】

- ・エントリーするプレーヤーは3年生以上を基本とし、チームの意向により2年生以下をエントリーすることができる。※次ページのQ&AのQ1・2を参照
- ・規程人数に満たないチームは近隣のチームと合同で参加することができる。その場合、事前に主催者へ届出するものとする

Q & A

Q 1	2年生2人を入れて10人で登録した場合、2年生を除いたメンバー8人で試合に望むことは可能ですか。
A 1	2年生を登録した段階で「特例プレーヤー」とみなすため、試合に出場しなくてはなりません。出場させないのであれば、エントリーはしないでください。
Q 2	特例プレーヤーを登録する際に特別な届け出は必要ですか。
A 2	登録した段階で「特例プレーヤー」の登録意思表示とみなします。また、公式戦はこれまでどおり全て保護者の参加同意書を提出する必要がありますが、その中に「特例プレーヤーとして参加すること」の同意を加えます。
Q 3	合同するチーム先は、同じように規定人数に満たないチームでしょうか。
A 3	近隣に同様のチームがあれば、双方のチームを救済できますが、単独チームとの合同も可能とします。この場合、合同チームにすることで単独チームの6年生が試合に出られなくなることは回避することを念頭に合同先を地区U12部会と話し合ってください。
Q 4	Xチーム6人、Yチーム2人の2チームによる合同チームです。ブロック大会予選で敗退した後、Xチームが単独で8人となりましたが、合同を解消し、Yチームは別なチームと合同とすべきでしょうか？
A 4	合同はあくまでも暫定措置なので、今後増える見込みがあるのであれば、解消することを検討すべきです。一方で、相手チームとの兼ね合いもあり、もう一方のチームが新たに合同として受け入れてくれるチームを探すことが困難な状況であることや規定人数を満たしたと言ってもギリギリな人数であれば不安定であることを考慮し、解消を見送ることも認めるものとします。なお、年度内の次の大会に参加する場合は改めて申請が必要となります。
Q 5	予選ごとに理由書を提出し、承認を得るとのことですが、年度当初に承認されれば通年で参加を認めるということにはなりませんか。
A 5	少子化が進む地域では、予選が始まる春先に規定人数に満たないチームが出る可能性があるため、一時的な救済措置として認めるものです。その後の状況の変化も有り得ることから大会ごとに承認することとしています。 一方、合同チームで勝ち上がりが見込まれるため、恣意的に募集を怠った場合は、「強化目的にチーム」とみなし、承認を取り消します。
Q 6	ユニフォームは各チームのものを着用してもいいのでしょうか。
A 6	本大会は競技規則に基づき、同一のものを着用することになりますが、地区での予選については、地区U12部会の判断に委ねます。
Q 7	強化目的のチームとなる条件とはどのようなものでしょうか。
A 7	意図的に団員を登録しない、或いは募集しないで勝ち上がりが見込めるチームと合同になることをはじめ、能力があるプレーヤーを選び好みしながら入団させるようなことを指します。一度承認した後このような事案が判明した場合は、直ちに承認を取り消します。

第46回 春季札幌地区ミニバスケットボール選手権

大会要項

大会名称	第46回 春季札幌地区ミニバスケットボール選手権 兼 第5回 北海道ミニバスケットボールサマーフェスティバル札幌地区予選会 第40回 市長杯争奪春季札幌地区ミニバスケットボール少年団交流大会
主催	一般財団法人北海道バスケットボール協会 札幌地区バスケットボール協会 一般財団法人札幌市スポーツ協会札幌市スポーツ少年団
共催	公益財団法人北海道スポーツ協会北海道スポーツ少年団
主管	札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 各ブロック 一般財団法人札幌市スポーツ協会札幌市スポーツ少年団ミニバスケットボール専門部
協賛	大阪フォト スポーツデポ
後援	札幌市
開催期間	・2026年5～6月(6月21日までに順位を決定する)
会場	・各ブロック予選 小学校体育館 厚別区体育館(6/13、14、20) 他 ・ブロック交流戦 美香保体育館(6/21)
競技方法	・ブロック予選は男女とも大会エントリーチームによるトーナメント優勝戦とする。 ・ブロック予選上位のチームでブロック交流戦を行う。(各ブロックからブロック交流戦に出場するチーム数は、ブロックの所属チーム数によるドント方式で決定する。)
参加資格	・2026年度(2026年4月30日まで)において、JBAに加盟されたチーム及び登録(移籍完了)された競技者、指導者であること。 ・ヘッドコーチはD級以上(特例でE級を認める)、アシスタントコーチはE級以上。 ・メンバー変更は所属ブロックの大会初日の3日前までにブロック代表に提出する。 ・参加者のスポーツ安全保険等への加入について必須とする。
競技規則	・「2026 バスケットボール競技規則」、「2025 ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023年12月20日一部改訂)」による。 ・特別ルールとして、3ポイントルールを採用し実施する。 ・試合球 男子…モルテン 女子…ミカサ
感染症対策	・JBA「5類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023.5.12)、HBA「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第12号通知」(2023.5.8)を基本とする。 ・札幌地区U12独自の大会ガイドラインは別途定めないものとする。
その他	・大会エントリーはteamJBAから行う。 ・参加料は13,000円とする。 ・ウェルフェア自己推薦書は4月30日までに各ブロック代表に提出する。 ・この大会の成績上位チームを北海道サマーフェスティバルへの参加に推薦する。 ・ウェルフェア推薦枠を設け、北海道サマーフェスティバルへの参加に推薦する。

春季予選・札幌地区交流戦 手続き日程一覧

チームエントリー、JBA登録、移籍申請の期限と出場条件

4月 → 5月

チームの手続き

4/12 ~ 4/19

team JBA エントリー期間
リーグ・春季大会へのチームエントリーを必ずこの期間内に完了。

予選開始3日前
メンバー変更届 提出締切
所属ブロック代表へ提出

※4/30までの登録済・移籍申請済選手のみ変更可能

選手個人の手続き

4/30

新規入団選手のJBA登録締切
春季予選・札幌地区交流戦分

移籍申請締切①

5/16

移籍申請締切②
北海道サマーフェス分のみ

【重要】移籍申請日による大会出場可否 ※2つのチームで同一の大会に出場することはできません。

移籍申請日	春季予選	札幌地区交流戦	北海道サマーフェス
4月30日 までに行う	[○ 出場可]	[○ 出場可]	[○ 出場可]
5月16日 までに行う	[× 出場不可]	[× 出場不可]	[○ 出場可]

4/30

ウェルフェア
エントリー締切
自己推薦書を
ブロック代表へ提出

5/30

北海道サマーフェス分
JBA登録締切

第55回 秋季札幌地区ミニバスケットボール選手権

大会要項

大会名称	第55回 秋季札幌地区ミニバスケットボール選手権 兼 第52回 北海道大会予選会 第41回 市長杯争奪札幌地区ミニバスケットボール少年団交流大会 第7回 J:COM カップ 第2回 スポーツデポカップ
主催	一般財団法人北海道バスケットボール協会 札幌地区バスケットボール協会 一般財団法人札幌市スポーツ協会札幌市スポーツ少年団
共催	公益財団法人北海道スポーツ協会北海道スポーツ少年団
主管	札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 各ブロック 一般財団法人札幌市スポーツ協会札幌市スポーツ少年団ミニバスケットボール専門部
協賛	大阪フット J:COM スポーツデポ
後援	札幌市
開催期間	・2026年10～11月(11月23日までに順位を決定する)
会場	・各ブロック予選 小学校体育館 厚別区体育館(11/8、11/15) 他 ・ブロック交流戦 恵庭市総合体育館(11/22、11/23)
競技方法	・ブロック予選は男女とも大会エントリーチームによるトーナメント優勝戦とする。 ・ブロック予選上位のチームでブロック交流戦を行う。(各ブロックからブロック交流戦に出場するチーム数は、ブロックの所属チーム数によるドント方式で決定する。)
参加資格	・2026年度(2026年9月30日まで)において、JBAに加盟されたチーム及び登録(移籍完了)された競技者、指導者であること。 ・ヘッドコーチはD級以上、アシスタントコーチはE級以上。 ・メンバー変更は所属ブロックの大会初日の3日前までにブロック代表に提出する。 ・参加者のスポーツ安全保険等への加入について必須とする。
競技規則	・「2026バスケットボール競技規則」、「2025ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023年12月20日一部改訂)」による。 ・特別ルールとして、3ポイントルールを採用し実施する。 ・試合球 男子…モルテン 女子…ミカサ
感染症対策	・JBA「5類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023.5.12)、HBA「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第12号通知」(2023.5.8)を基本とする。 ・札幌地区U12独自の大会ガイドラインは別途定めのないものとする。
その他	・大会エントリーは teamJBA から行う。 ・参加料は14,000円とする。 ・この大会の成績上位チームを北海道大会、北海道ブロック大会への参加に推薦する。

札幌地区U12リーグ 2026

大会要項

大会名称	札幌地区U12リーグ2026
主催	札幌地区バスケットボール協会
主管	札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 各ブロック
開催期間	前期リーグ 2026年4～5月 中期リーグ 2026年8～10月 後期リーグ 2027年1～3月
会場	各ブロック 小学校体育館 他
競技方法	<ul style="list-style-type: none">各ブロックの大会エントリーチームによる交流戦とする。1チームあたり年間10試合程度とする。
参加資格	<ul style="list-style-type: none">2026年度において、JBAに加盟されたチーム及び登録された競技者、指導者であること。参加者のスポーツ安全保険等への加入について必須とする。
競技規則	<ul style="list-style-type: none">「2026バスケットボール競技規則」、「2025ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023年12月20日一部改訂)」を基本とする。3ポイント、交代、ハーフタイムの有効利用などを適宜導入することも可能とする。より多くのプレイヤーに試合出場の機会を保障できるよう努める。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none">JBA「5類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023.5.12)、HBA「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第12号通知」(2023.5.8)を基本とする。札幌地区U12独自の大会ガイドラインは別途定めないものとする。
その他	<ul style="list-style-type: none">大会エントリーは年度当初の1回のみとし、対戦組合せや日程はその都度各ブロックにおいて決定する。大会参加費は通年で1,000円とする。

2026年度 札幌地区 U11 新人大会

大会要項

大会名称	2026年度 札幌地区 U11 新人大会
主催	札幌地区バスケットボール協会
主管	札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 各ブロック
後援	札幌市
開催期間	2026年12～2027年2月
会場	各ブロック 小学校体育館 他
競技方法	<ul style="list-style-type: none">各ブロック男女とも大会エントリーチームによる。大会形式は、トーナメント戦とする。
参加資格	<ul style="list-style-type: none">2026年度において、JBAに加盟されたチーム及び登録された競技者(小学5年生以下)、指導者であること。参加者のスポーツ安全保険等への加入について必須とする。
競技規則	<ul style="list-style-type: none">「2026 バスケットボール競技規則」、「2025 ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023年12月20日一部改訂)」による。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none">JBA「5類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023.5.12)、HBA「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第12号通知」(2023.5.8)を基本とする。札幌地区U12独自の大会ガイドラインは別途定めないものとする。
その他	<ul style="list-style-type: none">大会エントリーは teamJBA から行う。参加料は 8,000 円とする。(徴収方法は各ブロックによる)

2026年 札幌市スポーツ少年団 登録のススメ

チームの未来を支える、確かなステップ



札幌市スポーツ少年団副本部長 齊藤八起

NotebookLM



背景

登録チームの減少と、複雑化する指導者・保護者の負担増。



核心

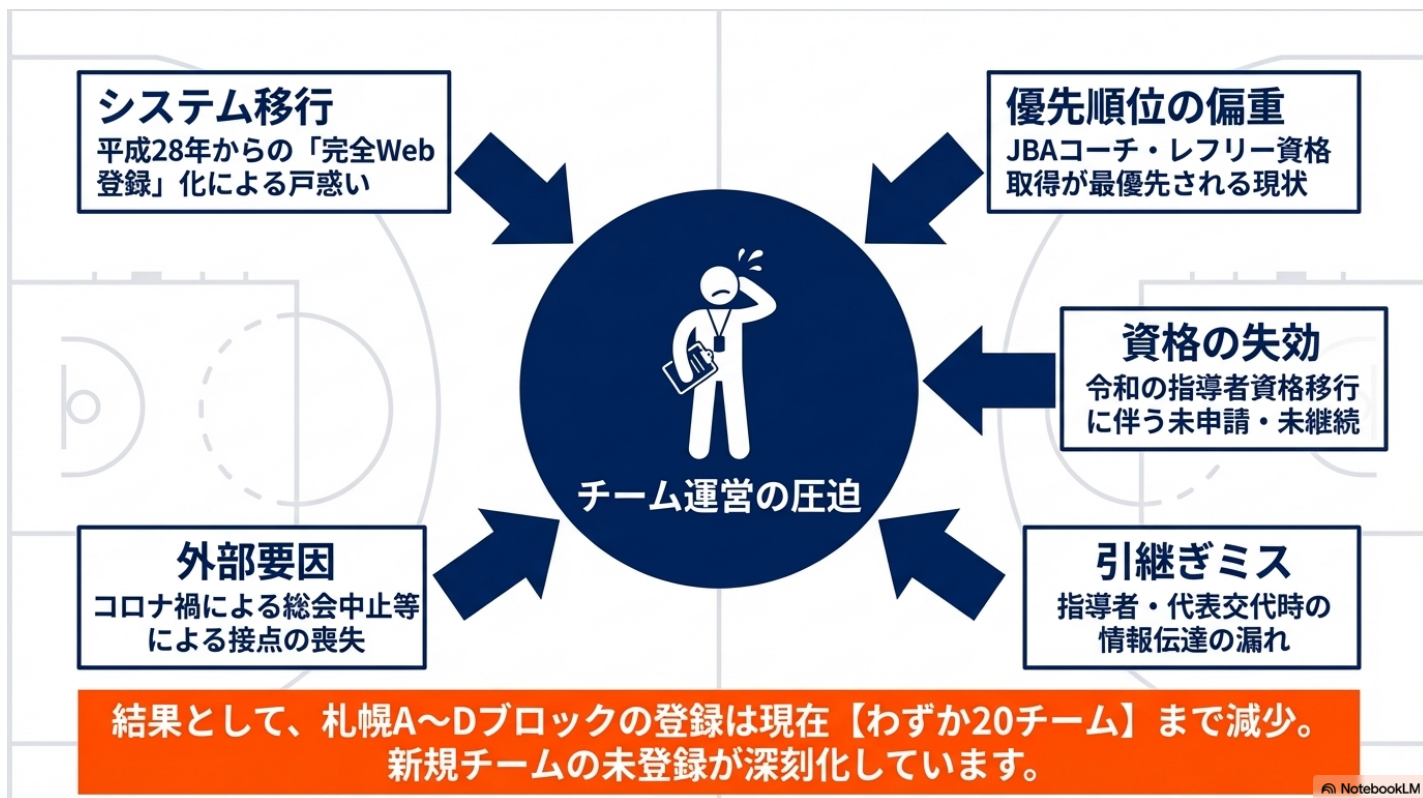
勝利至上主義からの脱却。地域社会と連携し、子供たちの人間的成長を最優先する。



メリット

体育館の優先利用、大会助成金、研修への参加権など、チーム運営を直接助ける実利の獲得。

NotebookLM



登録が生み出す3層の具体的な価値

	施設・インフラ	資金サポート	成長・資格
U12カテゴリー全体	区体育館の優先・減免	大会助成金	
少年団登録 チーム・保護者	小学校体育館の目的外使用クリア	全国大会協力費 (1万円/2千円)	保護者・チーム向け 有益な研修
指導者			JBA公認C級以上の そのまま活用

NotebookLM

施設利用と資金面での絶大なメリット



施設面

日常練習の確保

小学校体育館の「目的外使用」貸与条件(地域スポーツ少年団であること)を完全にクリア。

大会時の優遇

春季・秋季大会において、「美香保体育館」「厚別区体育館」等の優先占有利用および使用料減免が適用。



資金面

大会助成

スポーツ協会からU12カテゴリーへの大会助成金(補助金)の交付。

全国大会バックアップ

後援全国大会出場時、「登録少年団」には強力な協力費を支給。

👉 指導者：10,000円 🏆 選手：2,000円

NotebookLM

指導者とチーム運営のアップデート

指導者のライセンス有効活用

ゼロから資格を取り直す必要はありません。
JBA公認C級ライセンス以上を保有するコーチは、
そのままスポーツ少年団指導者として登録が可能です。
既存の資格をフル活用できます。



チーム・保護者会の質的向上

指導者や保護者会に対し、日々のチーム運営に
直結する有益な「研修会」や「講習会」への参
加パスポートが付与されます。引継ぎミスや
運営の悩みを孤立させず、地域全体のネットワ
ークでチームの質的向上をサポートします。

NotebookLM

2026年 新規・継続登録ステップ



Step 1: Webへアクセス

パソコン・スマホから専用ページへ。

<https://www.sapporo-sport.jp/boys-registration/>



Step 2: Webシステムから申請

画面の指示に従い入力。代表者交代時の
「引継ぎ漏れ」に注意して完了！

お困りの場合はこちら

一般財団法人 札幌市スポーツ協会（札幌市スポーツ少年団）
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番5号（札幌市中島体育センター内）
TEL：011-511-7787 FAX：011-511-7797
E-mail：info@sapporo-sport.jp

子供たちのより良いスポーツ環境のために、皆様の登録をお待ちしています。

NotebookLM